

平成24年度

草 加 の 教 育



八幡小学校「学習相談室」にて中学生・高校生が学習指導を実施

草 加 市 教 育 委 員 会

草 加 市 民 憲 章

わたくしたち草加市民は、綾瀬の流れと松原をシンボルとして、おおきな夢をはぐくんできました。

人の心をたいせつにし、自然をいかした住みよいふるさとをめざして、ここに憲章をさだめます。

わたくしたちは

- 1 平和を愛し、文化的で、
ゆたかなまちをつくります。
- 1 きまりを守り、安全で、
せいけつなまちをつくります。
- 1 健康に努め、親切で、
さわやかなまちをつくります。

（昭和63年11月1日制定）



市章（昭和33年11月1日制定）

「生きる力を共に教え育てる草加の教育」をめざして

教育長 高 木 宏 幸

草加市教育委員会は、平成24年4月に、草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」を施行しました。学校・家庭・地域が互いに信頼し、絆を深め、連携して支え合い、「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念として、教育施策を推進します。

まず、学校教育においては、学ぶ力を伸ばし、心豊かに、健康でたくましい児童生徒の育成を目指して、基礎・基本の徹底を図ります。子どもたちの学力の向上を最重要課題の一つととらえ、子どもたちの学習の実態を多面的な視点から分析し、取り組むべき方向性や方法等を明らかにし、具体的な目標を定め、達成に向け取り組んでまいります。

学校施設整備においては、平成24年度末までに対象となる校舎及び屋内運動場の耐震化率100%に向け、耐震補強工事を進めます。また、老朽化に伴う栄小学校の校舎等の全面改築を実施します。

特別支援教育においては、平成25年4月開校予定の「埼玉県立草加かがやき特別支援学校」の開設準備を進めている埼玉県教育局との連携を図りながら、きめ細かな特別支援教育の充実に努めます。

さらに、子ども教育連携推進室を設置し、幼稚園・保育園を起点として、小学校・中学校を連続した教育期間ととらえ、学びの基礎力を育み、自ら学ぶ力、考える力などの「生きる力」を子どもたちに身につけさせるため、関係機関との連携を推進します。

生涯学習においては、第二次生涯学習基本構想・基本計画に基づき、市民一人ひとりのライフステージに合わせた多様な学習機会を創出し、谷塚西文化センター建設事業の推進をはじめ、生涯をとおした学習環境の整備を進めてまいります。

文化財保護においては、「草加市文化財保護基本計画」を踏まえ、文化財保護のための意識形成や体制強化、歴史民俗資料館の整備等に係る取り組みを積極的に推進し、文化財保有者や市民との協働による文化財の保護と活用をとおした心豊かで魅力あるまちづくりに努めます。

人権教育では、学校や社会における多様な機会をとおして人権を大切にしよう教育を推進し、一人ひとりの基本的人権を尊重する意識の高揚に努めます。

ここに、平成24年度「草加の教育」を刊行いたしました。皆様にご高覧いただき、幅広くご活用いただければ幸いに存じます。

教育委員会委員

(平成24年7月1日現在)

職 氏 名 名	教 育 委 員	教 育 委 員 長	教 育 長
	任 期	在任期間	在任期間
委 員 長 いで けんじろう 井 出 健治郎	平17. 10. 1～平18. 12. 31 平19. 1. 1～平22. 12. 31 平23. 1. 25～平27. 1. 24	平21. 10. 1～平22. 12. 31 平23. 1. 25～平25. 1. 24	
委員長職務代理者 にしだ としこ 西 田 敏 子	平22. 4. 1～平26. 3. 31		
委 員 はまもと えつこ 浜 本 悦 子	平15. 4. 1～平24. 9. 30	平17. 5. 24～平19. 5. 23	
委 員 むらた よしかず 村 田 悦 一	平23. 4. 1～平24. 9. 30		
委 員 おざわ なおひさ 小 澤 尚 久	平24. 1. 1～平27. 12. 31		
教育長たる委員 たかぎ ひろゆき 高 木 宏 幸	平23. 4. 1～平27. 3. 31		平23. 4. 1～平27. 3. 31

歴代教育委員会委員・委員長・教育長

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行後)

氏 名	教 育 委 員		教 育 委 員 長		教 育 長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
藤 波 武 義	31.10. 1	35. 9.30	32. 1. 9	35. 9. 9		
岡 野 仁右エ門	31.10. 1	42.12.31				
浅 古 光 藏	31.10. 1	43. 9.30				
池 田 俊 三	31.10. 1	48. 9.30	44. 1. 9	45. 1. 8		
			48. 1.10	48. 9.30		
田 中 捷一郎	31.10. 1	46. 9.30			31. 10. 1	46. 9.30
中 島 長太郎	35.12.20	43.12. 9	36. 1. 9	43.12.19		
宮 本 忠 蔵	43. 4. 1	45. 9.30	45. 1. 9	45. 9.30	47. 1.14	49.10. 4
	45.10. 5	49. 10. 4	45.10.24	46. 1.11	50. 1. 9	53.12.31
	50. 1. 1	53.12.31				
上 山 良 一	43.12.25	47.12.24	46. 1.12	47. 1. 7		
	48. 3. 1	52. 2.28	49. 1.11	52. 1.10		
			52. 1.22	52. 2.28		
二階堂 重 信	43.12.25	47.12.24	47. 1. 8	47.12.24		
倉 林 誠一郎	46.12.24	50.12.23				
加 藤 正 一	48. 3. 1	49.12.31				
若 旅 吉一郎	49. 1. 1	52.12.31				
藤 盛 正 規	51. 1. 1	54.12.31	52. 4.23	53. 4.22		
佐々木 正 勇	51. 6.21	55. 6.20				
野 口 康 司	53. 1. 1	56.12.31	53. 4.23	54. 3.31	54. 4. 1	56.12.31
小 澤 博	53. 4. 1	平5. 6.30	54. 4. 1	56.12.31	57. 1. 1	平5. 6.30
藤 波 壽	54. 7. 1	62. 6.30	59. 1. 1	61.12.31		
竹 澤 義 郎	55. 1.17	63. 1.16	62. 1. 1	62.12.31		
浅 古 正 三	55. 8.12	63. 8.11	57. 1. 1	58.12.31		
小 山 利 男	57. 4. 1	平2. 3.31	63. 1. 1	平元.12.31		
渦 尾 延之助	62.10. 1	平3. 9.30	平2. 1. 1	平2.12.31		
桂 保 平	63. 4. 1	平4. 3.31				
鈴 木 昭 平	63.10. 1	平4. 9.30	平3. 1. 1	平4. 9.30		
高 野 光 由	平2. 4. 1	平10. 3.31	平4. 10. 1	平6. 3.31		
			平8. 1.10	平10. 3.31		
藤 井 光 男	平4. 1. 1	平7.12.31	平6. 4. 1	平7.12.31		
神 白 高 子	平4. 6. 1	平12. 5.31				
定 道 成 美	平4.10. 1	平8. 9.30				
常 田 種 雄	平5.10.15	平10. 3.31			平5.10.15	平10. 3. 31
谷古宇 康 治	平8. 1. 1	平11.12.31	平10. 4. 1	平11.12.31		
會 田 勝 美	平8. 10. 1	平15. 3.31				
鳥谷部 志乃恵	平12. 7. 1	平16. 6.30				
牛 山 信 康	平11. 1. 1	平17. 4.22	平12. 1.19	平14. 1.18		
			平17. 1.19	平17. 4.22		
若 林 誠 満	平12. 1. 1	平19.12.31	平14. 1.19	平17. 1.18		
宮 嶋 昭 雄	平10. 4. 1	平22. 3. 31			平10. 4. 16	平22. 3. 31
國 澤 正 和	平16. 10. 1	平23. 3. 31	平19. 5. 24	平21. 9. 30	平22. 4. 1	平23. 3. 31
岩 永 嘉 仁	平20. 1. 1	平23. 12. 31				

目

次

草加市民憲章	表紙裏
--------------	-----

I 教育行政・教育財政

平成24年度草加市教育委員会教育方針	7
平成24年度草加市教育行政重点施策	8
平成24年度一般会計予算(当初)	9
平成24年度教育費予算(当初)	9
教育委員会の組織	10
教育委員会の事務分掌	11

II 学校教育

子ども教育の連携の推進	17
入学準備金・奨学資金貸付制度	17
外国人学校児童生徒保護者補助金制度	17
計画的な学校教育施設整備の推進	18
自然教室	18
教育施設の紹介	19
学校図書館教育	20
国際理解教育	20
情報教育	21
環境教育	22
教職員の研究・研修	23
生徒指導	24
教育相談	24
特別支援教育	26
学校給食	28
学校保健	30
市立小学校の紹介	32
市立中学校の紹介	38

III 生涯学習

豊かなまちづくりにつながる生涯学習の推進…	43
文化遺産の保存や市史の継承と活用	44
生涯学習施設の紹介	45
草加市立中央図書館	47

IV 人権教育

人権教育	51
------------	----

V 資料編

草加の教育の沿革	55
草加市の指定文化財	58
教育委員会関係附属機関委員	61
学校教育関係等一覧	62
児童・生徒数等の推移	63
教職員の年齢構成・男女比	64
学校概要	65
小・中学校施設状況	66

I 教育行政・教育財政

平成24年度草加市教育委員会教育方針

教育は人格の完成を目指すとともに、心身ともに健康な国民の育成を期して行うことを目的とし、あらゆる機会にあらゆる場所で実現することが求められております。

この目的を達成するため、「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念とし、学校・家庭・地域が互いに信頼し、絆を深め、連携して支え合い、「笑顔かがやく草加の教育」を目指します。

次世代を担う子どもたちにとって必要な「生きる力」を支える確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和を図るとともに、子どもたちのよさや可能性が発揮され、一人ひとりを大切にした信頼される学校教育を推進します。

学力の向上を最重要課題ととらえ、学校が取り組むべき方向性を明らかにするとともに、子どもたちの学習の実態を分析し、学力の向上のための施策等を着実に実施していきます。

新たに子ども教育連携推進室を設置し、幼児期教育、小学校教育、中学校教育を途切れることのない連続した教育期間ととらえ、幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携を推進し、子どもたちが継続的に安心して学べる環境の充実、さらに自ら学ぶ力、考える力など「生きる力」の育成を図ります。

平成25年4月の埼玉県東部地域特別支援学校（仮称）の開校に合わせ、市内小中学校との連携を図り、特別支援学級の設置を進め、担当教員の育成及び指導力の向上に努めるなど、特別支援教育のさらなる充実を図ります。

安全安心な学校施設の整備充実を図るため、平成24年度に校舎及び屋内運動場の耐震化率100%を達成するなど学校の教育環境の改善に取り組みます。

生涯学習を通じ「生きる力」をはぐくみ、人と人、人と地域が学ぶことをとおして新たな絆をつくりだしていくことができるまち、「学縁都市^{がくえん}そうか」の推進を図ります。

第二次草加市生涯学習基本構想・基本計画をもとに、市民との協働により、市民一人ひとりのライフステージに合わせた多様な学習機会を創出し、生涯をととした学習活動の推進体制を構築します。

文化財を地域共有の財産として将来にわたり継承するため、文化財保護の意識の形成や体制強化、歴史民俗資料館の整備等を積極的に推進し、心豊かで魅力あるまちづくりに努めます。

一人ひとりの基本的人権が尊重され、平和で住み良い社会を実現するため、人権教育を推進します。

これからも教育の目的が十分達せられるよう、教育行政の課題をよりの確に把握し、子どもたち、学校、家庭、地域で市民一人ひとりが「笑顔かがやく草加の教育」を目指して、積極的に施策に取り組みます。

平成24年度草加市教育行政重点施策

草加市教育委員会では、第三次草加市総合振興計画後期基本計画及び草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」の策定過程を踏まえ、『生きる力を共に教え育てる草加の教育』の実現を目指し、草加市教育行政重点施策を定めています。

○ 生きる力を育てる学校教育の推進

1 一人ひとりの良さや可能性が発揮される学校教育の推進

(1) 学ぶ力を伸ばす児童生徒の育成

- ◇ 草加っ子「生き生きプラン」推進事業
- ◇ 草加っ子「ステップアッププラン」推進事業
- ◇ 情報教育環境整備事業（小・中）
- ◇ 英語教育・国際理解教育推進事業
- ◇ 教職員研修推進事業
- ◇ 学校教育補助員配置事業
- ◇ 教科書等整備事業
- ◇ 教材教具整備事業（小・中）

(2) 心豊かな児童生徒の育成

- ◇ 教育相談充実事業
- ◇ 生徒指導推進事業
- ◇ 音楽教育推進事業
- ◇ 自然教室推進事業

(3) 健康でたくましい児童生徒の育成

- ◇ 学校体育推進事業
- ◇ 中学校部活動推進事業
- ◇ 就学時健康診断等事業
- ◇ 学校保健安全衛生・各種健康診断事業（小・中）
- ◇ 学校医等の公務災害補償事務
- ◇ 放射線対策事業
- ◇ 学校給食推進事業（小・中）
- ◇ 学校給食管理運営事業

(4) きめ細かな特別支援教育の充実

- ◇ 特別支援教育充実事業
- ◇ 特別支援教育就学奨励費補助事業（小・中）

(5) 一人ひとりに応じた就学支援の充実

- ◇ 入学準備金・奨学資金貸付事業
- ◇ 外国人学校児童生徒保護者補助事業
- ◇ 学校就学援助事業（小・中）

2 安全安心な教育環境整備の推進

(1) 計画的な学校教育施設整備の推進

- ◇ 校舎等耐震補強事業（小・中）
- ◇ 校舎等増築等事業（小・中）
- ◇ 栄小学校校舎等改築事業
- ◇ 学校施設維持管理事業（小・中）
- ◇ 学校維持管理運営事業（小・中）
- ◇ 学校管理備品整備事業（小・中）
- ◇ トイレ環境改善整備事業（小・中）

(2) 魅力ある教育環境の推進

- ◇ 奥日光自然の家管理運営事業
- ◇ 自然の家建設事業

3 学校、家庭、地域の連携の推進

(1) 家庭・地域の教育力の向上

- ◇ 学校応援団推進事業

(2) 組織力を生かした学校経営の推進

- ◇ 学校運営・就学事務適正化事業
- ◇ 学校管理運営事業（小・中）

(3) 子ども教育の連携の推進

- ◇ 子ども教育連携推進事業
- ◇ 幼児教育推進事業

○ 生きる力をはぐくむ学縁都市そうかの推進

4 地域に根ざした生涯学習活動の推進

(1) 生涯をととした多様な学習機会の充実

- ◇ 生涯学習推進体制整備事業
- ◇ そうか市民大学運営事業
- ◇ 大学公開講座等推進事業
- ◇ 平成塾設置・管理運営事業

(2) 生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進

- ◇ 公民館等事業
- ◇ 図書館情報サービス・管理運営事業
- ◇ （仮称）谷塚西文化センター建設事業

(3) 文化遺産の発掘・保存等の計画的継続的な取組の推進

- ◇ 文化遺産の発掘・保存・有効活用推進事業
- ◇ 歴史民俗資料館管理運営事業

○ 人権を尊重しあう教育の推進

5 人権教育の推進

(1) 学校人権教育の推進

- ◇ 学校人権教育推進事業

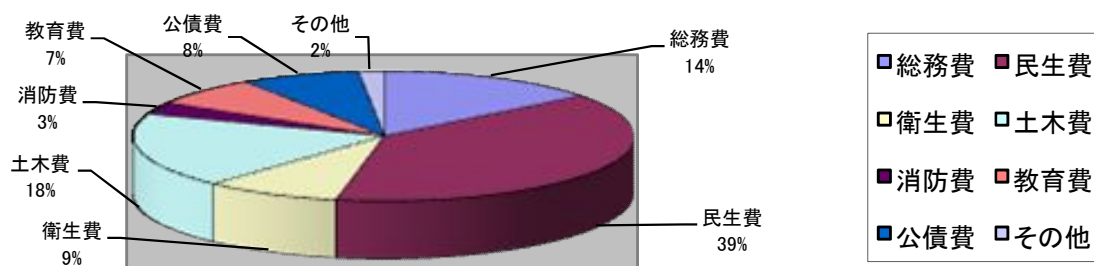
(2) 社会人権教育の推進

- ◇ 社会人権教育推進事業

平成24年度一般会計予算（当初）

（単位：千円）

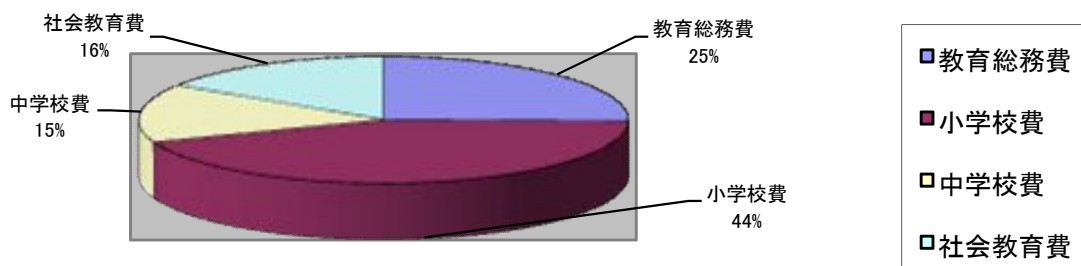
項	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 議会費	483,993	539,848	△ 55,855	△ 10.3
2 総務費	9,740,143	7,406,416	2,333,727	31.5
3 民生費	26,347,761	25,531,452	816,309	3.2
4 衛生費	5,969,667	5,819,893	149,774	2.6
5 労働費	160,915	147,485	13,430	9.1
6 農林水産費	80,457	87,177	△ 6,720	△ 7.7
7 商工費	305,965	346,524	△ 40,559	△ 11.7
8 土木費	12,654,259	9,677,230	2,977,029	30.8
9 消防費	2,035,588	2,277,216	△ 241,628	△ 10.6
10 教育費	4,883,863	4,002,226	881,637	22.0
11 災害復旧費	3	3	0	0.0
12 公債費	5,209,386	5,155,530	53,856	1.0
13 予備費	100,000	100,000	0	0.0
歳出合計	67,972,000	61,091,000	6,881,000	11.3



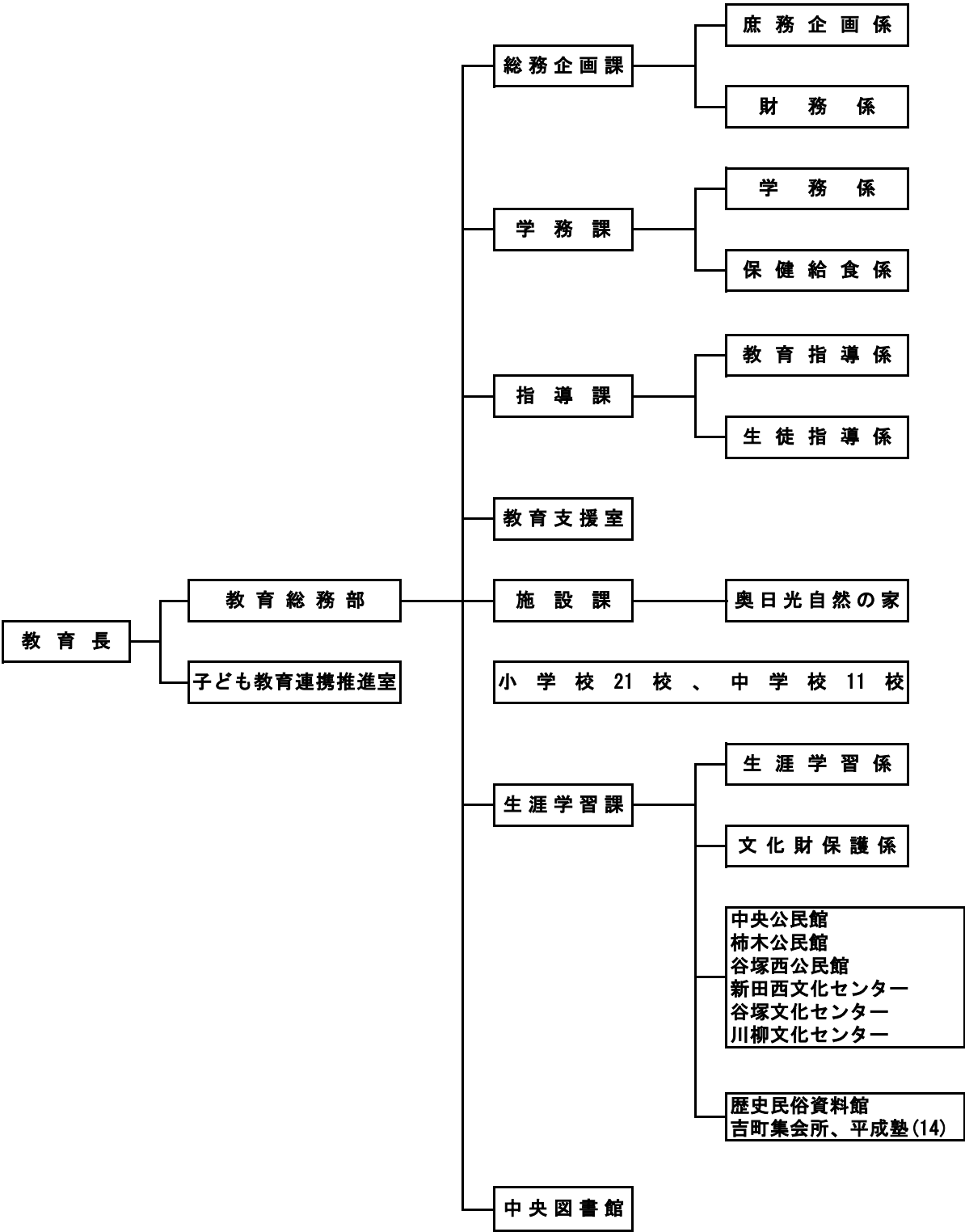
平成24年度教育費予算（当初）

（単位：千円）

項	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 教育総務費	1,236,552	1,171,502	65,050	5.6
2 小学校費	2,146,606	1,553,048	593,558	38.2
3 中学校費	728,943	743,821	△ 14,878	△ 2.0
4 社会教育費	771,762	533,855	237,907	44.6
合計	4,883,863	4,002,226	881,637	22.0



教育委員会の組織



教育委員会の事務分掌

教育総務部

◎ 総務企画課（職員数 7 人）

○庶務企画係

- ・ 教育行政の主要施策の企画、立案、総合調整及び推進に関する事。
- ・ 教育委員会の会議に関する事。
- ・ 教育委員会の秘書事務に関する事。
- ・ 学校の設置及び廃止に関する事。
- ・ 教育委員会規則等の制定及び廃止に関する事。
- ・ 職員（県費支弁教職員を除く。）の人事、給与及び服務に関する事。
- ・ 職員（県費支弁教職員を除く。）の福利厚生及び研修に関する事。
- ・ 儀式及び表彰に関する事。
- ・ 文書等の配布及び発送に関する事。
- ・ 文書事務の指導に関する事。
- ・ 公印の管理に関する事。
- ・ 教育委員会事務局内及び部内の調整に関する事。
- ・ 他の課に属さない事務に関する事。
- ・ その他課の庶務に関する事。

○財務係

- ・ 予算の作成及び調整に関する事。
- ・ 学校予算の配当に関する事。
- ・ 物品の購入、委託その他の契約に関する事。
- ・ 教育財産の統括に関する事。
- ・ 「草加の教育」及び「そうか教育だより」の発行に関する事。
- ・ 教育の調査統計及びその分析に関する事。
- ・ 入学準備金及び奨学資金の貸付けに関する事。
- ・ その他財務に関する事。

◎ 学務課（職員数 8 人）

○学務係

- ・ 県費負担教職員の服務及び人事に関する事。
- ・ 学級編成及び児童生徒数の管理に関する事。
- ・ 学齢児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関する事。
- ・ 学齢簿の編製及び保管に関する事。

- ・ 要保護・準要保護児童生徒の援助費に関すること。
- ・ 通学区域の設定及び改廃に関すること。
- ・ 学校の運営の基本的事項に関すること。
- ・ 学校基本調査に関すること。
- ・ その他課の庶務に関すること。

○保健給食係

- ・ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
- ・ 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。
- ・ 児童生徒及び教職員の保健安全に関すること。
- ・ 学校保健衛生の計画及び推進に関すること。
- ・ 児童等災害対策基金に関すること。
- ・ 学校給食の計画及び推進に関すること。
- ・ 学校給食用備品の維持管理に関すること。

◎ 指導課（職員数 9 人）

○教育指導係

- ・ 教職員研修及び各種教育研究会に関すること。
- ・ 教科等の指導に関すること。
- ・ 教育課程の編成及び管理に関すること。
- ・ 教育研究奨励に関すること。
- ・ 学校教育調査に関すること。
- ・ 安全教育等に関すること。
- ・ 国際理解教育の推進に関すること。
- ・ 情報教育の推進に関すること。
- ・ 環境教育の推進に関すること。
- ・ 進路指導に関すること。
- ・ 教科用図書無償給与事務に関すること。
- ・ 校外行事等に関すること。
- ・ 幼児教育に関すること。
- ・ 学校における人権教育に関すること。
- ・ 学校評価に関すること。
- ・ 児童生徒の事故に関すること。
- ・ その他課の庶務に関すること。

○生徒指導係

- ・ 生徒指導に関すること。

◎ 教育支援室（職員数 4 人）

- ・ 特別支援教育に関すること。
- ・ 教育相談に関すること。

◎ 施設課（職員数 8 人）

- ・ 学校施設の維持管理並びに維持管理に係る小規模工事及び修繕に関すること。
- ・ 学校施設の設備の保全及び委託に関すること。
- ・ 奥日光自然の家に関すること。
- ・ 学校施設の整備計画に関すること。
- ・ 学校施設の建設及び大規模改修等に関すること。
- ・ 学校施設の安全に関すること。
- ・ その他学校施設に関すること。

◎ 生涯学習課（職員数 24 人 ※ 公民館職員を含む。）

○生涯学習係

- ・ 生涯学習の企画及び推進に関すること。
- ・ 生涯学習に係る情報の収集及び提供並びに調査研究に関すること。
- ・ 社会教育施設に関すること。
- ・ 社会教育機関の相互調整に関すること。
- ・ 生涯学習における人権教育に関すること。
- ・ 新成人のつどいに関すること。
- ・ その他課の庶務に関すること。

○文化財保護係

- ・ 市史の刊行に関すること。
- ・ 歴史資料として重要な公文書等の調査、収集及び保存に関すること。
- ・ 公文書館の整備推進に関すること。
- ・ 文化財の保護に関すること。

◎ 中央図書館（職員数 11 人）

- ・ 図書館運営に関すること。
- ・ 施設管理に関すること。
- ・ 多目的ホールの一般使用に関すること。
- ・ 図書館資料の選定、整理及び保存に関すること。
- ・ 郷土資料、寄贈等の資料の受入保管に関すること。
- ・ その他図書館資料に関すること。

- ・ 図書館資料の利用に関する事。
- ・ レファレンス・サービスに関する事。
- ・ 文化事業の企画及び運営に関する事。
- ・ その他図書館の奉仕に関する事。

子ども教育連携推進室

◎ 子ども教育連携推進室（職員数４人 ※ 指導課との兼務職員２人を含む。）

- ・ 幼稚園・保育園・小学校の連携の推進に関する事。
- ・ 小学校・中学校の連携の推進に関する事。

Ⅱ 学 校 教 育

子ども教育の連携の推進

少子化、核家族化などの社会生活の変化が、人間関係の希薄化や家庭や地域の教育力の低下をもたらし、子どもたちの健全な育成に影響を及ぼす様々な課題が指摘されています。特に近年では「小1プロブレム」、「中1ギャップ」と言われるように、小学校・中学校入学時の環境変化にうまく適応することができず、授業中に座ってられない、学習に集中できない、不登校となってしまうといったケースが全国的に問題となっています。

こうした課題に取り組んでいくためには、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校へと滑らかな接続ができるよう、それぞれの立場を尊重しながら課題を共有し、お互いの教育を理解し、連携を図り、教育活動に活かしていくことが重要です。

そこで、「幼保小中」教育の連携推進を図るため、平成24年4月より教育委員会内に「子ども教育連携推進室」を設置し、教育の連続性、一貫性を確保していく中で、子どもが自ら学ぶ力、考える力、豊かな心、健やかな体といった「生きる力」の育成に取り組んでいます。

平成24年度の取り組みとしては、草加市における子ども教育の連携の現状と課題を整理し、教育現場の関係者や専門家の意見を取り入れながら、子ども教育の連携推進についての基本方針の策定などを行います。

入学準備金・奨学資金の貸付制度

高等学校等に入学を希望する方の保護者で入学準備金の調達が困難な方に対し、入学準備金を貸し付けることにより市民に等しく教育の機会を与えるとともに、経済的な理由から就学が困難な方に対し、奨学資金を貸し付けることにより有能な人材の育成を図ります。

区 分	入学準備金貸付限度額	奨学資金貸付金額(月額)
高等学校 高等専門学校 専修学校	国立・公立 100,000円	10,000円
	私立 300,000円	20,000円
短期大学	国立・公立 200,000円	15,000円
大学	私立 500,000円	30,000円

外国人学校児童生徒保護者補助金制度

外国人学校（学校教育法に定める義務教育相当年齢の児童生徒を教育する学校）に通学する児童生徒の保護者で、住民基本台帳に記載されている方を対象に、通学に要する経費の補助を実施しています。

対 象 者	補 助 金 額
学齢児童の保護者（1人につき）	30,000円以内
学齢生徒の保護者（1人につき）	50,000円以内

計画的な学校教育施設整備の推進

今年度から、老朽化した栄小学校校舎等の建設を２ヵ年で進めます。耐震補強事業については、校舎及び屋内運動場の補強工事を小学校６校９棟、中学校３校３棟実施し、耐震化率１００％となります。また、施設改修を円滑に遂行し、安全で快適な施設の環境を維持します。

自然教室

1 趣旨と目標

自然教室は、自然に恵まれた「奥日光自然の家」を利用して、児童生徒一人ひとりが自然の恵みや美しさなどに触れるとともに、人間的なふれあいの中で、よりよい人間関係を深めることにより、豊かな心を育成することを目標とした教室です。豊かな心の育成が一つの大きな教育課題になっている今、ますます自然教室での自然体験や体験活動などの学習が大切になっています。

2 実施計画の概要

◆小学校5年生全児童、中学校2年生全生徒対象

- ・小学校 各校3泊4日 7月22日(日)～8月12日(日)
8月17日(金)～8月29日(水)
- ・中学校 各校3泊4日 6月4日(月)～6月10日(日)
6月30日(土)～7月6日(金)
7月9日(月)～7月15日(日)
9月4日(火)～9月19日(水)

3 自然教室の経緯

- 昭和 6 0 年度 蓼科林間学校が廃止される。
- 昭和 6 1 年度 奥日光自然の家を日光中禅寺湖畔に開設する。
(4 大学が利用していた施設を市が譲り受ける。)
- 平成 7 年度 小学校・中学校とも 3 泊 4 日とする。
(平成 6 年度までは中学校は 4 泊 5 日)
- 平成 1 7 年度 自然教室開設 2 0 周年記念式典を行う。

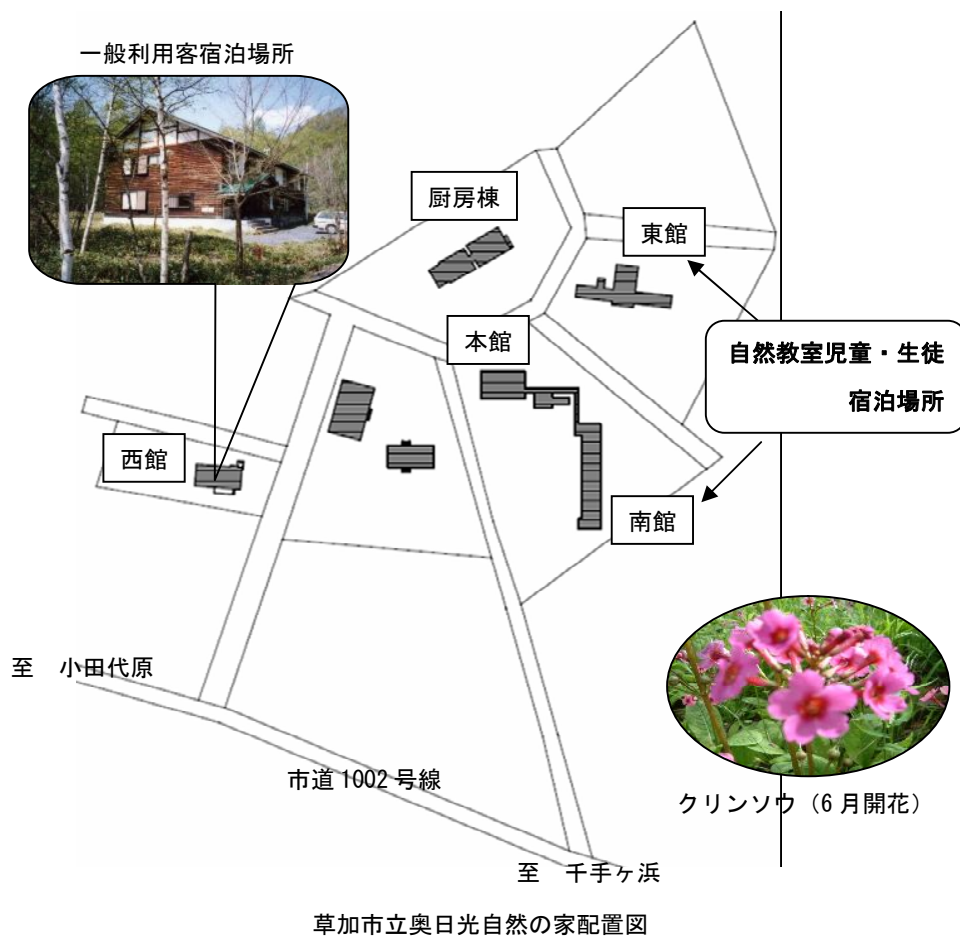
教 育 施 設 の 紹 介

○奥日光自然の家

中禅寺湖畔千手ヶ浜にほど近い国有林にある草加市立奥日光自然の家は、周辺に野鳥や鹿などの野生動物が生息する自然の宝庫です。この豊かな自然環境の中で、児童及び生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図るとともに、市民の健康増進を目的として同施設は昭和61年に開設されました。

毎年、5月から11月初旬まで一般の方に施設を利用いただいております。また、6月から9月にかけて、市内の小学5年生・中学2年生を対象に、3泊4日で自然教室を開催しております。

- ・所在地：栃木県日光市官有無番地
- ・施設概要：宿泊棟4棟（本館、南館、東館、西館）、厨房棟、体育室、クラブ室
西館 和室（定員4名）5部屋 洋室（定員6名）5部屋
- ・宿泊料金（市内料金）：大人1人1泊1,540円 4歳～中学生770円
※食事料別途



学 校 図 書 館 教 育

1 学校図書館

学校図書館には、児童生徒が自ら学ぶ学習情報センターとしての機能、豊かな感性や情操をはぐくむ読書センター機能が求められています。

2 読書活動

読書は、児童生徒の人間形成に欠かせない活動であり、生涯にわたる自己啓発の基盤となるものです。また、小中学校では、学校図書館を活用して計画的な読書活動を推進し、発達段階に応じながら朝の一斉読書や読み聞かせ活動等により、児童生徒の読書に親しむ態度の育成を図っています。

3 学校図書館の機能

- (1) 学校図書館司書教諭を中心に、全教職員の共通理解に基づく協力体制を確立し、計画的な学校図書館の利用や読書活動の推進を図っています。また、公立図書館との連携も行っています。
- (2) 学習情報センター及び読書センターとしての機能が発揮できるよう、図書や視聴覚資料等の整備・充実に努め、データベース化の準備も行っています。
- (3) 市教育委員会では、学校図書館教育補助員を採用し、小中学校に派遣し、学校図書館教育への支援を行っています。

4 成果

取組により、学校図書館の利用や読書活動の充実が図られてきています。

国 際 理 解 教 育

1 国際理解教育の目標

国際理解教育は国際化の進展に対応し、国際社会の中で日本人としての自覚をもち、主体性をもって生きていくための資質や能力の基礎を培うことを目標に行っています。本市では、外国語（英語）活動及び英語教育の充実に向け、国際交流員（C I R）1名、語学指導助手（A L T）12人を採用配置しています。英語教育や国際理解教育だけでなく、特別活動等でも児童生徒との交流活動を実施しています。

2 中学校における英語教育

英語の授業では、日本人英語教師とA L Tとのチームティーチング等を通し、生徒が英語を使ってコミュニケーション活動などを行い、英語による実践的コミュニケーション能力の育成をめざしています。

3 小学校における外国語活動

小学校では、5・6年生で外国語活動が行われています。担任教師が中心となり、Hi, friends!（文部科学省作成）等を活用し、ALTとのチームティーチングを行うなど、児童が英語に慣れ親しむことを通し国際理解を深めることができるように英語活動を実施しています。また、小学校外国語指導助手（15名）を配置し、小学校外国語活動、国際理解教育の充実及びALT活用のための支援、補助を行っています。

4 その他の取組

日本語指導が必要な児童生徒の在籍校に国際理解教育補助員（7名）を配置し、日本語指導支援を図っています。

5 成果

取組により、各学校で英語を話したり、英語の歌を歌ったりできる児童生徒が増え、英語や外国の文化を身近に感じ、興味・関心が高まっています。

情 報 教 育

1 情報教育の目標

情報教育の目標は、児童生徒が情報を主体的に収集・選択・活用する情報活用能力及びコンピュータやインターネット等の情報手段を活用できる能力の育成を図ることです。

小中学校では、各教科や総合的な学習の時間などにおいてコンピュータやインターネットを積極的に活用し、学習活動における情報教育の充実を図ります。

2 主な取組

(1) コンピュータ及びインターネット等の整備

- 小中学校 ・全校にコンピュータ各42台を整備
 - ・全校に特別教室用コンピュータ、電子黒板、プロジェクター
- 小学校各5台中学校各4台を整備
 - ・全校の学校図書館にコンピュータ各2台を整備
 - ・全校の校内ネットワークを整備し、各教室からインターネットの接続ができる環境を整備
 - ・全校にインターネット高速通信回線接続
 - ・小中学校県費負担教職員に教育用兼校務用コンピュータを整備

(2) 情報教育研修会

情報教育に関する教員の資質向上のためにコンピュータ研修会、コンピュータソフト活用研修会などを実施しています。各学校では情報教育の推進教員による校内研修などに取り組んでいます。教職員の教育用兼校務用コンピュータの活用を図ります。

(3) 情報教育推進委員会

学校における情報教育の推進を図るため、情報教育機器の活用、コンピュータやインターネットを活用した学習活動の在り方、教材の開発等の調査・研究を行っています。また、情報社会におけるモラルやマナーの育成を図るための取組や、校務用コンピュータの活用による教員事務の効率化を図るための取組を行っています。

3 成果

取組により、各学校でのコンピュータやインターネットを活用した教育活動が充実してきています。

環 境 教 育

近年、社会環境の著しい変化とともに「環境教育」の重要性・実践性が強く求められています。

本市では、平成4年度から学校教育の場において市環境課と連携し、市内小中学校で給食の牛乳パックのリサイクルを開始しました。また、平成6年度からは「子ども環境サミット」を開催し、平成24年度で17回目を迎えます。

平成7、8年度には埼玉県環境教育モデルゾーンの指定を受け、新栄中学校を中心とする地域で研究推進に取り組みました。これらにより、学校における環境教育の意識が一層高まってきました。

また、平成10年度から市環境課と協力し、毎年1校ずつ「学校ビオトープ」造りを実施するとともに、「草加市環境教育指導資料」の冊子や「広げよう、地球にやさしい暮らし」のパンフレットなどを作成し、意識の高揚を図っています。

平成16年度からは、市環境課・廃棄物資源課と連携して、市内の小中学校で、アルミ缶の回収活動を開始し、学校教育への還元化を目指した進取的な取組を行っています。

1 具体的な取組内容

- (1) 環境教育の全体計画と年間指導計画づくりの推進
- (2) 総合的な学習の時間等での積極的な取組（出前講座の講師派遣・環境教育への支援）
- (3) 子ども環境サミットの開催（児童生徒による環境保全活動の発表・意見交換等）
- (4) 学校ビオトープ設計相談と維持管理等への助言
- (5) 牛乳パックやアルミ缶のリサイクルへの取組
- (6) エコライフDAY（県と市）の積極的な実施
- (7) 小学校5年生・中学校2年生全員参加による自然教室を通して行う環境教育の推進

2 今後の方向性

- (1) 「持続可能な循環型社会づくり」を目指して、市内の小中学校で環境教育の一層の推進を図っていきます。
- (2) 関係機関との連携を深め、地域ぐるみの活動として定着を図っています。

教 職 員 の 研 究 ・ 研 修

生きる力を共に教え育てることを目指し、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力を育成するため、教育研究への支援や教職員の資質の向上を図る研修会を実施しています。また、平成17年度から取り組んできた「草加っ子の基礎・基本」を平成24年度に改訂し、さらなる充実を目指して、「基礎学力」「規律ある生活」「健康・体力」の3つの達成目標に関し、保護者の方々と連携して、小中学校で取組を行っています。

〔指導の重点〕：一人ひとりのよさや可能性が発揮される学校教育の推進

1 学校訪問

- (1) 要請訪問：学校や市教育研究会の要請に応じ、指導主事が学校等を訪問し指導助言をしています。
- (2) 指導訪問：市教育委員会の計画に基づき、南部教育事務所等の協力を得て、毎年度1回市内小中学校32校を訪問し指導助言をしています。

2 教職員研修

- (1) 県教委主催…初任者研修、5年経験者研修、10年経験者研修、20年経験者研修、特定研修等
- (2) 市教委主催…3年次教員研修、中堅教員研修、各教科及び領域等の授業研究会や実技研修会、生徒指導、人権教育、教育相談、特別支援教育、情報教育、自然教室等の研修会を実施しています。

3 教育研究奨励校一覧(市教委委嘱)

平成23・24・25年度 草加市研究委嘱校			平成24・25・26年度 草加市研究委嘱校		
No	学 校 名	教科・領域	No	学 校 名	教科・領域
1	川柳小学校	学力向上「算数科」	1	草加小学校	学力向上「算数科」
2	八幡小学校	学力向上「算数科」	2	高砂小学校	健康・体力向上
3	両新田小学校	学力向上「国語科」	3	栄小学校	学力向上
4	松原小学校	草加っ子の基礎・基本「国語科」	4	西町小学校	教育課程 言語活動の充実
5	瀬崎中学校	草加っ子の基礎・基本「全教科・領域」	5	稲荷小学校	学力向上「算数科」
			6	谷塚中学校	学力向上
平成24・25年度 草加市研究委嘱校					
1	新田小学校	健康・体力向上			
2	瀬崎小学校	学力向上「国語科」			
3	花栗南小学校	学力向上「算数科」			

4 成果

取組により、教職員の教育研究や研修の充実が図られています。

生徒指導

1 目標

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の1つであり、一人ひとりの児童生徒が学校生活に生きがいを感じ、規律正しく、豊かで充実した生活を送ることができるように指導、支援するものです。こうした目標に向けて、いじめ・不登校の問題の解消をはじめ、学校支援の充実を通して、心豊かな児童生徒の育成に努めています。

2 主な取組

目標を達成するために、次の取組を通し各小中学校での生徒指導を支援しています。

- (1) 学校支援指導員、学級支援員を配置し、各小中学校への派遣を通して、教員が子どもと関わる時間の確保ができ、一人ひとりの子どもが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、学校支援体制の充実を図ります。
- (2) 豊かな人間性の育成を目指して、道德教育の充実を図るため、道德教育教材資料集「彩の国の道德」の活用や道德の時間などの工夫・改善について、学校訪問での指導助言や研修会の実施を行っています。また、豊かな体験として、自然教室や中学生が地域の事業所等で社会体験をする中学校社会体験事業及び読書活動などを行っています。
- (3) 学校支援指導員が交代で、教育支援室でのフリーダイヤル等による電話相談、来室相談を行っています。
- (4) 草加市小中高合同生徒指導委員会において、小学校、中学校、高等学校、児童相談所等との相互の連携協力関係を充実させるために、事例研修会や講演会を実施しています。
- (5) 学校警察連絡協議会において草加警察署及び小中学校、高等学校との連携を図っています。
- (6) 草加市立小中学校生徒指導推進委員会において、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等生徒指導上の諸課題に対して、調査、研究を行い、積極的な生徒指導の推進を図っています。

3 成果

取組により、児童生徒の充実した学校生活のための支援や事故の未然防止、事故への適切な対応が円滑に図られています。

教育相談

1 教育支援室

草加市教育支援室は、昭和46年の設置後、平成13年2月に場所の移転及び組織の改編を行い、内容、施設ともに充実を図り、平成19年4月より、学校への支援を積極的に行うという視

点から、教育相談室から教育支援室へと名称を変更しました。専門的な立場から幼児、児童、生徒、保護者や学校に対して支援・相談に応じ、一人ひとりの子どものより望ましい成長と自己実現への支援を行っています。

2 教育相談等の内容と対応する職員等

(1) 内容

- ①一般教育相談 ②巡回教育相談 ③学級支援 ④学校適応指導教室「ふれあい教室」の開設
- ⑤就学相談 ⑥ことばの相談 ⑦学校教育相談活動への支援 ⑧各種研修会の実施
- ⑨障害児就学支援委員会、調査専門員の活動
- ⑩特別支援学級担任者会及び通級指導教室開設校への支援
- ⑪「教育支援室パンフレット」「『草加っ子』元気カード」「就学支援の手引」等の発行

(2) 職員等

- ①室長 ②指導主事等 5 人 ③学校支援指導員 5 人 ④「ふれあい教室」指導員 3 人
- ⑤臨床心理士・臨床心理専門員 4 人 ⑥特別支援相談員 2 人 ⑦巡回相談員 2 人
- ⑧ことばの相談指導員 1 人 ⑨通級指導教室指導員 3 人 ⑩草加市さわやか相談員 11 人
- ⑪特別支援教育指導員 1 人 ⑫スクールソーシャルワーカー 1 人

3 教育支援室対応状況の概要

(1) 年度別相談項目と相談者実人数及び延べ人数

	平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
ことばの相談	42	288	24	205	50	257	42	288	117	413	204	504	94	384
知的発達相談	82	151	93	178	205	684	130	255	124	183	99	255	95	363
情緒障がい	141	261	150	277	159	531	300	1184	517	995	249	820	175	1125
集団不適応	124	519	106	465	51	170	26	43	48	191	68	242	37	125
いじめ相談	47	97	52	121	26	88	79	181	39	63	37	105	25	53
性格行動	110	358	121	366	38	126	56	239	23	46	19	37	16	82
あそび・非行	81	329	71	302	178	593	318	773	122	2010	70	850	122	3352
しつけ	8	16	8	18	7	25	21	28	8	8	5	31	4	9
就学・進路	5	15	7	12	5	18	33	108	28	33	70	85	29	45
生活行動	81	210	97	228	28	92	217	548	159	811	43	121	38	212
学習障がい	10	28	32	57	4	9	25	43	23	328	17	29	23	70
不登校	918	2154	1008	2276	208	694	386	1724	317	2514	230	2401	222	3026
就学相談	217	808	229	852	235	787	297	1203	355	1296	435	1756	253	974
その他	120	405	132	436	218	727	427	703	450	787	858	1362	648	1447
合計	1986	5639	2162	5899	1462	4879	2430	7428	2330	9678	2404	8598	1781	11267

(2) ふれあい教室利用者実人数及び延べ人数

平成 17 年度		平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度	
実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
21	1141	15	883	13	978	21	1141	17	750	14	681	23	947

4 成果

市内小中学校及び保護者等と連携を図りながら、様々な相談・支援を行うことで、一人ひとりの児童生徒の課題の解決が促進されています。中でも、巡回相談をはじめとする学校訪問等を充実したことで、児童生徒、保護者の相談のみならず、学校や教職員への支援も推進されました。また、中学校に設置されているさわやか相談室の機能が、市教委との連携の中で一層充実し、市立小中学校におけるいじめ・不登校等の解決に成果をあげています。

他にも、学校適応指導教室「ふれあい教室」に通級していた児童生徒が、教育支援室と保護者、学校、関係機関との連携により、学校に部分復帰することができました。

特 別 支 援 教 育

1 特別支援教育の目標

特別支援教育は、障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その可能性や能力を最大限に高め、生活や学習上の課題を改善・克服するために適切な教育的支援を行うことを目標にしています。

通常の学級に在籍する発達障害を含む教育上特別な支援が必要と思われる児童生徒を含む障がいのある児童生徒への支援を進めるために、各小中学校に校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターを校務分掌に位置付ける等、校内の特別支援教育体制の充実を図っています。

2 草加市の特別支援学級

草加市には、特別支援学級を設置している小学校が 20 校 32 学級、中学校が 10 校 18 学級あります。知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級が設置され、児童生徒一人ひとりの障がいの状態、発達段階、特性に応じた教育を行っています。

【平成 24 年度特別支援学級設置状況】

平成 24 年 4 月 6 日現在

学校名	児 童 生徒数	学級数	学校名	児 童 生徒数	学級数	学校名	児 童 生徒数	学級数
草加小	12	2	八幡小	18	4	草加中	14	2
高砂小	9	2	新栄小	4	1	栄中	14	3
新田小	14	2	清門小	10	2	谷塚中	19	3
谷塚小	10	2	稲荷小	4	1	川柳中	9	2

栄 小	7	2	氷川小	7	1	新栄中	7	2
川柳小	1	1	八幡北小	1	1	瀬崎中	3	1
瀬崎小	8	2	青柳小	7	2	花栗中	5	2
西町小	6	1	小山小	2	1	新田中	5	1
新里小	4	1	両新田小	7	1	青柳中	4	1
花栗南小	6	2	松原小	6	1	松江中	3	1
						合計 30校	226	50

3 草加市の通級指導教室

通常学級に在籍していることば・聞こえに課題のある児童のための通級指導教室は、小学校3校に4教室設置されています。また、情緒等に課題がある児童のための通級指導教室も小学校3校に5教室、中学校1校に1教室設置されています。

それぞれの教室では、児童の言語面や情緒面の課題改善のための教育を行っています。

【平成24年度通級指導教室設置状況】

平成24年4月6日現在

学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数
栄小 (発達・情緒)	23	2	氷川小 (発達・情緒)	22	2	八幡小 (発達・情緒)	11	1
松原小 (難聴・言語)	42	2	氷川小 (難聴・言語)	24	1	八幡北小 (難聴・言語)	19	1
			栄中 (発達・情緒)	8	1	合計 7校 10教室 149名		

4 草加市の就学に係る教育的支援

草加市では次の事業をとおして、関係機関と連携を図り、就学に必要な情報を的確に保護者に提供しながら、保護者が適切な判断をしていけるよう支援しています。

- ・各学校の依頼に基づいて臨床心理士による計画的な巡回相談を実施することをはじめとして、より児童生徒、保護者及び学校のニーズにあった専門的な支援を推進しています。
- ・各学校における就学相談委員会などでの相談をはじめ、早期からの多角的な相談をもとに就学に係る教育的支援を推進しています。
- ・就学に係る教育的支援を図るために、専門機関の方々、専門医、臨床心理士、特別支援教育に携わる教職員で組織する草加市障害児就学支援委員会を設置しています。
- ・草加市特別支援教育巡回支援員を置き、就学に係る教育的支援が必要と判断された児童生徒の在籍する学校及び小中学校長から要請のあった学校を、保護者の意向を踏まえ巡回し、対象児童生徒の実態把握並びに指導内容及び方法に関する助言を行っています。
- ・通級指導教室に言語聴覚士及び臨床心理士を指導員として派遣し、担当教員への研修体制を整えています。

5 成果

- (1) 幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適切な教育的支援が図られています。
- (2) 川柳小学校、小山小学校、瀬崎中学校に知的特別支援学級を新設。また、栄中学校に発達・情緒の通級指導教室を新設し、地域で指導ができる体制づくりを目指すとともに、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに一層応じられるようになっています。
- (3) 特別支援学級に24人（5月1日現在）の特別支援教育支援員を配置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応えるための教育活動への支援を図っています。
- (4) 就学に係る教育的支援に関する関係組織や諸機関との連携により、幼児期からの早期就学相談・就学に係る教育的支援を推進しています。
- (5) 市教育支援室巡回相談員による市内小中学校への巡回相談を行い、障がいがあると思われる児童生徒の理解や支援・指導方法についての助言に努めています。
- (6) 通級指導教室に指導員を派遣し担当教員の資質の向上を図ることにより、児童の課題の克服や改善に向けた支援に努めています。
- (7) 市内在住の県立特別支援学校の児童生徒が市内小中学校において、「支援籍学習」に取り組み、ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進に努めています。
- (8) 特別支援教育指導員を配置し、新設学級及び経験年数の浅い指導者を中心に巡回支援を行い、指導力の向上と特別支援教育の充実に努めています。
- (9) 特別支援教育担当育成研修会を行い、特別支援教育に携わる人材の発掘及び育成を図っています。

学 校 給 食

本市の学校給食は、昭和23年に草加小学校において週3回のミルク給食から開始されました。完全給食は小学校では昭和41年から、中学校では昭和45年から実施され、長栄小学校及び新田中学校が併設校として一つの調理場であるほかは、各校単独調理場方式で実施されています。

単独調理場の特徴を生かして、学校行事や児童生徒の嗜好等を考慮したきめ細やかな献立により、心のこもった調理を実施し、健やかな心と体の育成を目指しています。

平成18年度から中学校の学校給食調理業務を段階的に、民間の給食調理専門会社に委託する方式を導入しました。平成20年度において、自校式による民間委託が10校になり、これまでと変わらない手作りの給食を提供しています。

区 分	月 額	年 額	年間給食回数	一食あたり
小学校	4, 0 0 0 円	4 4, 0 0 0 円	1 8 7 回	2 3 5 円
中学校	4, 8 0 0 円	5 2, 8 0 0 円	1 8 7 回	2 8 2 円

1 指 導

(1) 給食は「心の教育」

学校教育の指導は、望ましい食習慣の形成、好ましい人間関係の育成をねらいとして、特別

活動の中の学級活動に位置付けられ実施されています。

本市においては、異学年によるたて割り給食、誕生会の会食給食、ランチルームでの給食や野外での給食、卒業バイキング給食や複式献立によるセレクト給食、学校行事に合わせた献立等多様な給食を盛り込み、望ましい食習慣の形成に努めています。

食器には草加のシンボル“松原の松並木”の絵柄を用い、ふるさと意識を醸成しています。

また、各校に設置された調理場で働く調理士の様子を目近にし、感謝の心を育てることや、協力し合って食器を運んだり、配膳したりすることによって、好ましい人間関係の形成を図っています。

(2) 栄養指導の計画化と献立の多様化

現代の児童生徒の食生活の実態は、飽食の時代と言われる中であって、必ずしも良好な状態とはいえません。カルシウムの摂取不足や動物性たんぱく質、動物性脂肪の摂取過多傾向が見られるため、栄養素や食材に偏りのない適切な摂取が必要です。

そこで、本市の学校給食では、次の点に留意し、実施しています。

○不足しがちなカルシウム・鉄・ビタミン類の摂取に心掛ける。

○緑黄色野菜・大豆製品・海藻類・芋類の摂取に心掛ける。

○旬のものを取り入れ、季節感のある献立とする。

○不必要な食品添加物などが使用されていると思われる食品は使用しない。

「学校給食摂取基準」「標準食品構成表」に基づき、肉類・油脂を減らし、魚を多く取り入れ、不足しがちな食品の摂取に留意し、おいしく、バランスのとれた献立内容とするための改善工夫をしています。

成長期にある児童・生徒が自らの健康の保持増進を図るために必要な条件を認識させ、判断できる能力を養うため、給食指導計画と栄養指導資料を作成しています。

また、栄養面の知識を身に付けさせるとともに、心と体の健全な発達を指向する態度の育成をめざしています。

(3) 衛生管理の徹底

学校給食による食中毒の発生があってはなりません。事故を未然に防止するために、施設・設備の点検、食材の検収、調理器具の点検整備を十分に行い、提供食の保存・検査も行っています。また、学校給食に携わる者の衛生については、細菌検査による健康管理や衛生知識を高めるための研修会等を実施し、管理の徹底を図っています。

2 強化磁器食器の導入

本市では、平成3年4月から小学校全学年に、平成4年2月から中学校全学年に強化磁器食器を導入しました。親しみのある磁器材質の食器を使うことで、給食時間の楽しい雰囲気作りや食事マナーの指導に役立てているほか、物を大切に扱う心の育成に努めています。

3 地場産食材の使用・郷土食の導入

市内で生産された枝豆、小松菜、くわいなどの野菜を中心に地場産食材を積極的に使用する取り組みや、献立に各地の郷土料理や特産品を取り入れた「ふるさと給食」など、生活と食との結

びつきに着目した取り組みを行っています。

特に地場産食材については、生産者との交流を通じて食材の生育の過程を学び、身近に存在する食品への関心を高める工夫をしています。

学 校 保 健

近年の社会環境、生活習慣の変化は、児童生徒の健全な発達にさまざまな影響をあたえています。生活習慣病やアレルギー疾患の増加、心の健康や薬物乱用の防止など継続的に取り組まなければならない健康課題があり、心身の健康の保持増進を図るために必要な知識及び態度の習得に関する健康教育がますます重要になってきています。

「自分の健康は自分でつくる」という健康意識の浸透や疾病そのものを予防する「一次予防」への取り組みなど自己管理教育の推進や児童生徒の立場に立った心や身体の問題解決の支援がますます必要とされ、今後も、学校、家庭及び地域の三者一体となった連携が重要であると考えます。

人生の基礎となる学校生活が児童生徒にとって健康で活力に満ちたものになるよう健康教育及び安全管理の充実を図ります。

1 学校保健・安全の充実

- (1) 就学時健康診断をはじめとし、児童生徒及び教職員に対する諸検診を実施し、事前・事後の指導で健康管理の推進と学校保健の充実を図ります。
- (2) 小学校4年生を対象に小児生活習慣病予防検診を平成4年から実施していますが、生活習慣病の発病にライフスタイル（生活習慣）が深く関わっていることから、自分の健康は自分でつくるという自己健康管理の視点で充実を図ります。
- (3) 小学校1・4年生及び中学校1年生を対象に心臓検診を実施していますが、平成20年度から地域の中核病院である草加市立病院で心臓精密診療（精密検査）を受診できるよう検診体制の充実を図っています。
- (4) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の医療関係者や関係機関との連携を強化し、児童生徒の「アレルギー疾患」、熱中症対策、むし歯や歯周病の予防、インフルエンザや麻しん等の感染症予防対策を一層推進し、健康管理及び学校環境衛生の充実に努めます。
- (5) 登下校を含め、児童生徒の行動実態に応じた安全対策や指導を行い、学校管理下で発生する事故の防止に努めます。
- (6) 市内小・中学校全ての学校にAED（自動体外式除細動器）を配備しています。

AEDは、心肺機能等に異常が生じたときなどに電気ショックを与えて救命する機器で、平成16年7月に一般の人にも使用が認められました。

「いざ」というとき、いつでも・どこでも・だれでもが使用できるよう消防本部と連携し、救命講習会の機会を提供してまいります。

2 保健室備品の整備充実

身長計、体重計、照明灯、マットレス及びベッドなどの保健室備品の整備充実を図ります。

3 草加市学校保健会

学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事、養護教諭、学校栄養職員及びP T A関係者で構成されている草加市学校保健会の活動（理事会、講演会及び会報誌の発行等）を通して健康教育及び安全教育の計画的な実施と指導の充実を図ります。

市立小学校の紹介

(児童数・学級数は、平成24年5月1日現在)

学校紹介の内容

＜教育目標＞
＜研究主題＞
＜重点教科等＞
＜特色ある学校づくりへの取組＞

など

草加小学校

創立年月日 明治5年5月15日
学級数 25学級 校長 寺島 高志
児童数 789人 教頭 嶋田 弘之



＜教育目標＞
考える子 思いやりのある子 たくましい子
＜研究主題＞
豊かに学び合い 確かな学力を身に付ける
算数科の学習指導の在り方研究
＜重点教科等＞
算数科

＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
『未来へはばたけ けやきっ子』
- (2) 取組内容
- ①生きる力の育成
 - ・草加っ子の基礎・基本への取組
 - ・「あいさつは一生の宝物」を合言葉としたあいさつ運動
 - ②地域と共に歩む学校
 - ・家庭・学校・地域が一体となった教育の推進
 - ・「おはなしの森」地域の人材による読み聞かせ
 - ・平成塾との交流
 - ③潤いのある学校づくり
 - ・「ふるさとの森」「じゃぶじゃぶ池」の活用
- (3) 成果

140周年を迎える伝統校として、家庭・学校・地域が一体となった児童の教育を推進している。また、PTA活動も充実している。さらに、地域の行事への積極的な参加により、地域に根ざし、ふるさと草加を愛する子どもたちが育っている。

高砂小学校

創立年月日 昭和29年4月1日
学級数 29学級 校長 中村 文夫
児童数 963人 教頭 小松 薫樹



＜教育目標＞
○あかるく ○かしこく ○たくましく
(ブライト) (インテリジェント) (ストロング)

＜研究主題＞
勢いと潤いのある児童の育成
-確かな技能の習得と健康の増進・体力の向上を目指して-

＜重点教科等＞ 体育

＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
「学校力アップ・高砂スピリット・スマイル一杯」
『勢いと潤いのある天下の高砂教育の推進』
- (2) 取組内容
- ①魅力ある分かる授業の創造 (学習指導の改善)
 - ・新学習指導要領の趣旨を活かした指導法の工夫改善
 - ・学力の定着と向上のための教科指導の充実
 - ②体育授業の充実と体力向上のための取組強化
 - ・指導と評価の一体化を図った学習指導法の改善
 - ・さわやかタイム、たかさごタイム等での体育的活動の充実
 - ③ 地域との各種ふれあい活動の推進
 - ・潤いのある各種のふれあい交流事業の充実
 - ・地域に親しまれる環境整備と豊かな連携の推進
- (3) 成果
- 日々の魅力ある授業や確かな教育活動を展開することで学力の向上並びに体力の向上が明らかに見られるようになった。
- また、地域の方々との交流による各種のふれあい活動を通して、地域を大切にする豊かな心が確実に育っている。

新田小学校

創立年月日 明治19年4月26日
学級数 21学級 校長 上野 和敏
児童数 628人 教頭 長峰 宣幸



＜教育目標＞
○よく学ぶ子 ○思いやりのある子 ○たくましい子
＜研究主題＞
「心身ともに健やかで、たくましい児童の育成」
＜重点教科等＞
健康・体力向上

＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
「生き生き元気、伸び育つ新田っ子」
- (2) 取組内容
- ①本に親しむ取り組み
 - ・教師も共に取り組む朝の読書活動 (週1回)
 - ・お話会、エルマー等の図書ボランティアの協力による全校読み聞かせ活動
 - ・本に親しんだ成果発表の場として「全校音朗読会」
 - ②健康・体力向上の取り組み
 - ・さわやか運動 (朝マラソン、縄跳びタイム等) の実施
 - ・「新田体操」「外遊びキング」「コツコツ貯金」「お家でチャレンジ」などの健康・体力向上への工夫した取り組み
- (3) 成果
- 読書への関心・意欲が高まり、読書好きな児童が増えていく。読書の習慣化を図ることにより、豊かな心の育成にも役立っている。
- さまざまな体育的な活動に主体的に取り組む児童の姿が多く見られるようになり、体力向上への意欲も高まっている。

谷塚小学校

創立年月日 明治6年1月25日
学級数 29 学級 校長 三浦 伸治
児童数 932 人 教頭 高橋 孝幸



＜教育目標＞ やさしく つよく かしく
＜研究主題＞ 自ら学び豊かに表現する力を育てる授業の研究
＜重点教科等＞ 国語科・算数科

＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
「開校140周年 輝く笑顔 未来にはばたけ 谷塚小学校」
- (2) 取組内容
 - ①緑を愛し、自ら進んで活動することで、地域の中の一員であるという自覚を育て、安心・安全な街にする。
 - ・植栽ボランティアの方とともに取組む花いっぱい運動・ビオトープ活動
 - ・地域の協力農家と連携したさつま芋の栽培と収穫
 - ・地域や複合施設（谷塚文化センター）との連携
 - ・谷塚文化センター利用者団体との世代間交流、ふれあい会食
 - ②俳句、音楽、絵画等を愛し、地域の活動に進んで参加し谷塚を心む街にする。
 - ・商店会のお店に七夕短冊を飾る
 - ・谷塚小通りを児童の絵画作品で飾る
 - ③本を愛し、人を愛することで、谷塚を互いに尊敬と信頼で支え合う街にする。
 - ・豊かな表現力を育むための、学校図書館の積極的な活用
 - ・図書ボランティアと連携し、本の読み聞かせを全学年で実施
 - ・朝のあいさつ運動
- (3) 成果
人とのかわわりを通して絆を深め、自分たちの街や人に心を寄せ、地域の行事に関心を持つ児童や地域の方と共に活動しようとする児童が増えてきている。

栄小学校

創立年月日 昭和38年4月1日
学級数 20 学級 校長 梶川 澄明
児童数 642 人 教頭 沖野 邦夫



＜教育目標＞

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・ねばり強い子
- ・体をきたえる子

＜研究主題＞ 豊かな心を持ち生き生きと活動する児童の育成

＜重点教科等＞ 教育課程（全教科・領域）：
「草加っ子の基礎・基本」の深化・定着

＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
「いつも ニコニコ 楽しい さかえ」
- (2) 取組内容
 - ①「草加っ子の基礎・基本」の深化・定着を図るため、授業改善に努めている。
 - ・今年度の授業改善の視点：「思考力・判断力・表現力の育成」とともに「主体的に取り組む態度の育成」
 - ②朝読書の時間に平成塾のみなさんによる読み聞かせを実施して、読書に親しむ事を進めている。
 - ③多様な交流活動（平成塾）を実施することにより地域との触れ合い、連携を深めている。
- (3) 成果
児童が、あいさつを始め、主体的に何事にも取り組む姿が見られる。

川柳小学校

創立年月日 明治6年1月15日
学級数 21 学級 校長 小濱 治人
児童数 674 人 教頭 水澤 節子



＜教育目標＞ かしく なかよく たくましく
＜研究主題＞ 思考力が伸びる授業の創造
＜重点教科等＞ 算数科

＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と活気あふれる川柳小
- (2) 取組内容
 - 「明るいあいさつ はっきり返事」を重視した取組
 - ・あいさつがんばり隊を組織してのあいさつ運動の推進
 - 環境・福祉教育を重視した取組
 - ・アルミ缶やエコキャップを回収し、収益金で地域の福祉施設へ車いすを贈呈する等の活動の実施
 - ・地域のボランティアの方を招待してのふれあい給食の実施
 - 地域の人材活用の推進を図った取組
 - ・茶道等の伝統文化体験学習や、ボランティアとの連携による外国語活動の実施
- (3) 成果
 - 児童の福祉や地域に対する理解を深めることができた。
 - 学校・家庭・地域の連携が図られてきた。

瀬崎小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
学級数 24 学級 校長 梶原 悦郎
児童数 740 人 教頭 岩淵 健志



＜教育目標＞ 心豊かで たくましい子
《明るく 正しく 美しく》
＜研究主題＞ 伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝えることができる子の育成
＜重点教科等＞ 国語科

＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
「元気いっぱい えがおいっぱい 力いっぱい」
- (2) 取組内容
 - ①「規律正しい生活」を育む日常の指導
 - ・きまりや約束を正しく守る、友だちと仲良く協力し合う
 - ・元気なからだをつくる、安全に気をつける
 - ②達成感（「わかった・できた・ふれあった」）のある授業
 - ・最後まで正しく・力いっぱい勉強や運動をする
 - ・心のふれあいを大切にする
 - ③家庭・地域との連携・協力
 - ・「家庭・地域での取組」の推進－「生活・学習」など
 - ・ふれあい推進協力会との連携
 - ・学校応援団「学習・図書・あいさつ・安全・環境」
- (3) 成果
 - ・児童は、生活・学習に前向きに取り組む、成長してきています。
 - ・学校・家庭・地域の連携が、さらに進んできています。

西町小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
学級数 24学級 校長 船戸 姿子
児童数 789人 教頭 奥村 勇



＜教育目標＞ ①よく考え 工夫する子
②心豊かで 思いやりのある子
③たくましく ねばり強い子
＜研究主題＞ いきいき西町っ子の育成
－自分の思いや考えを適切に伝え合う児童の育成－
＜研究の内容＞ 「言語活動の充実」に関する研究
＜重点教科等＞ 国語・体育
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ
感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町
(2) 取組内容
①「パワーアップタイム」による基礎学力の向上
②「朝マラソン」「青空タイム」で健康・体力づくり
③縦わりペア学年活動による豊かな望ましい人間関係の醸成
④朝読書・読み聞かせ・中央図書館との連携で読書力の向上
⑤「あいさつ運動・家庭科学習支援・登下校の見守り」等の学校応援団の推進
⑥幼稚園・保育園・中学校との連携推進
(3) 成果
①草加市教育委員会委嘱「健康・体力」に関わる研究で体力が著しく向上した。
※「埼玉県体力向上優良校」表彰
※「埼玉県学校歯科保健コンクール年間努力校」表彰
②幼稚園・保育園・中学校との連携、多様な学習活動で成功感、成就感を味わわせることにつながった。
③PTAや地域の方々との連携が図られた。

新里小学校

創立年月日 昭和45年4月1日
学級数 24学級 校長 輿水 功
児童数 748人 教頭 森田 恵子



＜教育目標＞ かしこく なかよく たくましく
＜研究主題＞ 子ども達が互いに学び合い、高め合いながら、できる喜びや楽しさを味わわせる指導法の研究
－新里っ子の11年間を見通した基礎・基本の定着－
＜研究の内容＞ 子ども教育連携推進に関する研究
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ
にっこにこ さわやかあいさつ ともちいっぴい 新里小
(2) 取組内容
① わかる－新里っ子の基礎・基本、漢字・計算の定着、本とのふれあい・読み聞かせ、ステップアッププラン
② 助け合う－兄弟学級交流活動、児童会活動（募金活動・リサイクル活動・子どもまつり）、自然教室
③ 鍛える－マラソン・なわとび・相撲教室、各種大会の参加、水泳教室、プロサッカーチームの派遣授業
④ ふれあう－学校応援団、ロング昼休み、平成塾、地域学習（皮革・染め物・せんべい焼き体験）の充実
⑤ つながる－近隣の幼稚園・保育園・中学校・高等学校との連携交流授業、あいさつ運動、地域とのふれあい
(3) 成果
① 元気でさわやかなあいさつや返事ができる。
② 先生や友だちの話をしっかりと聞くことができる。
③ よい子のきまりをしっかりと守ることができる。
④ 素直な心で友だちを大切に、仲良くすることができる。
⑤ 地域で子ども達を大切にしている。
「新里っ子は、いつも笑顔いっぱい」

花栗南小学校

創立年月日 昭和47年4月1日
学級数 17学級 校長 阿部 豊
児童数 474人 教頭 皆川 賢司



＜教育目標＞
・考える子 ・思いやりのある子 ・体をきたえる子
＜研究主題＞ 「自ら進んで考え、解決しようとする児童の育成」
＜重点教科等＞ 算数
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ
～ 夢に羽ばたく南っ子 ～
(2) 取組内容
①一人一人の個に応じた教育を推進し、児童に確かな学力と生きる力を育成する。
・学力向上・教育に関する3つの達成目標・草加っ子の基礎基本・南っ子の基礎基本・校内研修の充実
②心潤う生徒指導の充実を図る。
・基本的生活習慣の確立（あいさつ運動）・問題行動の早期発見、早期解決・稲作、植物栽培、動物飼育
③人権を大切にしあう教育の推進を図る。
・特別支援教育の充実・全教育課程で人権意識を高め人間性を育む。
④体育的活動の充実を図り、体力の向上を推進する。
・体育授業・朝の運動・体育的行事
⑤安全で美しく潤いのある教育環境の整備を図る。
・清掃活動・安全指導・教育環境整備
⑥信頼に基づく地域との連携の強い本校の特色を継承し推進する。
・学習、読み聞かせボランティア・町会、学校開放団体、民生委員連携・学校評議員制度・保護者学校評価

八幡小学校

創立年月日 昭和48年4月1日
学級数 28学級 校長 横井 三夫
児童数 852人 教頭 菅野 光三



＜教育目標＞ 勉強する子 良い子 強い子
＜研究主題＞ 主体的に学ぶ児童の育成
～算数的活動を通して、思考力・表現力の育成～
＜重点教科等＞ 算数
＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ
「児童を主役に一人一人を大切にする八幡小の教育」
(2) 取組内容
①「にっこにこ」
・豊かな心の育成（元気なあいさつ、返事、靴そろえ、本とのふれあい一人20冊）
・基本的生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯）
②「きらきら」
・確かな学力（学習規律の確立）
・意欲的に学ぶ力（家庭学習の習慣）
③「きびきび」
・体力の向上（課題の克服、握力、投力、柔軟性）
・主体的な体力づくり（一日一回汗をかく、グリーンコース100周、休まないで登校）
④地域人材やボランティアの支援・協力で安心安全な学校生活と稲作体験
(3) 成果
①教育に関する3つの達成目標（国語・算数）95%以上を達成した。
②各種大会の優勝・入賞者の増加

新栄小学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数 15 学級 校長 土谷 和
児童数 430 人 教頭 村山 岳視



＜教育目標＞ なかよく かしく たくましく
＜研究主題＞ 生き生きと学び、確かな学力を身につける児童の育成
＜重点教科等＞ 国語

＜特色ある学校づくりへの取組＞
（１）キャッチフレーズ
笑顔いっぱい瞳輝く新栄っ子
—あたりまえのことがあたり前にできる—
（２）取組内容
①基礎学力の確実な定着と豊かな心の育成に向け、指導法の工夫・改善、読書タイム・音読タイム、さわやかタイム等の特色ある教育活動
②世代を越えた平成塾との文化交流として、昔遊び・折り紙・フォークダンス・茶道・植栽活動等の豊かな体験活動
③「笑顔いっぱい瞳輝く新栄っ子」の実現に向け、あいさつ運動、なかよしタイム、スカイラウンジ給食、お誕生会食等の特色ある教育活動
④「新栄小 夢と希望の宝箱」の学校像を目指し、あたりまえのことがあたり前にできる児童の育成を目指し、基礎・基本の徹底をめあてに掲げ、潤いと心に響く教育の実践
（３）成果
人や自然とのふれあいを多く取り入れた教育活動により、豊かな心がはぐくまれ、学習でも真剣に取り組む、学力の向上に結びついている。

清門小学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数 32 学級 校長 若林 茂次
児童数 1039 人 教頭 小川 正
教頭 松原 恵子



＜教育目標＞ なかよく かしく たくましく
＜研究主題＞ 国語科における基礎基本の育成（書く力）
＜重点教科＞ 国語科
＜特色ある学校づくりへの取組＞
（１）キャッチフレーズ
感動あふれる教育を創造し、
児童一人一人を輝かせ笑顔あふれる学校
（２）取組内容
①確かな学力（3つの達成目標）と豊かな心
・基礎学力—指導方法の改善と学習習慣の定着、個人目標の設定
・規律ある生活—生徒指導の充実 「はいオアシスです」
・健康・体力 学習規律と運動量、さわやかタイム、「あすはあお」
・豊かな心 音楽朝会、朝読書、読み聞かせ棟、友だちの日、振り返り
②潤いと安全・安心
・潤いのある環境 児童の姿が見える校内掲示、清門の森・池の整備「緑いっぱい花いっぱい」、清掃活動の充実
・安全管理 学校安全の日～安全安心の徹底～通学路・不審者・地震等対応
③家庭・地域とともに歩む
・学習予定表（週案）の配布・学習習慣化
・学校公開〔公開日 10/26・10/27〕子どもまつり、授業参観
・学校応援団の支援と連携 PTA、5町会2自治会、平成塾
学校評価（自己評価、児童の評価、保護者の評価、学校関係者評価）
学校評議員、安全安心委員会、学習ボランティア～放課後学習会
（３）成果
地域の人々、自然とのふれあいの中、児童は、男女仲よく思いやりのある子に育っている。また、めあてをしっかりと持ち基礎学力の定着や体力、健康の増進に意欲的に取り組んでいる。

稲荷小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 19 学級 校長 野口 繁
児童数 581 人 教頭 長谷川 晃

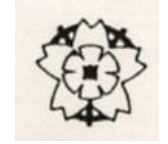


＜教育目標＞ かしく なかよく たくましく
＜研究主題＞ 豊かに学び「生きる力」を育む授業の創造
～互いに学び合い高め合う児童の育成(算数科)～
＜重点教科等＞ 算数科

＜特色ある学校づくりへの取組＞
（１）キャッチフレーズ
力いっぱい 夢いっぱい 未来に羽ばたけ稲荷小
（２）取組内容
①「生きる力」を育む学校づくり
「目をかける教育」「声をかける教育」「心をかける教育」
わかる授業づくりとサンタタイムで基礎・基本の定着、
基本的生活習慣の確立、いなかこ体操で体力向上の推進、
豊かな心を育む道徳教育の充実
②魅力ある学校づくり
・学習環境づくりの推進 花いっぱい潤いのある環境、学校ファームの充実、人材バンクの整備を進める。
・学校整備の推進 クリーンいなり、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収など校舎内外の美化と緑化を進める
・地域に根ざす学校教育の推進 家庭・地域との連携（学習ボランティア・読み聞かせ活動・放課後子ども教室）
（３）成果
①児童一人一人に応じた指導・授業を進めることにより、学力・体力、規律ある態度の向上が図られた。
②学校環境の整備、体験活動を重視した取組を進め、本や人とのふれあいが深まり、豊かな心の育成をすることができた。

氷川小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 19 学級 校長 荒井 智
児童数 558 人 教頭 高橋 始



＜教育目標＞ 学びあい 助けあって 自分を高める
＜研究主題＞ 算数の基礎的・基本的な内容の定着を
めざした指導の工夫
＜重点教科等＞ 算数科

＜特色ある学校づくりへの取組＞
（１）キャッチフレーズ
潤いと響き
—子どもたち一人ひとりを大切にする氷川小学校—
（２）取組内容
①魅力ある授業づくりの研究とともに、チャレンジタイムや読書タイムを通して、児童一人ひとりの基礎学力の向上を図る。
②全校での朝マラソンや朝縄跳び、持久走大会や長縄跳び大会などを通して、体力の向上を図る。
③お誕生給食、縦割り遊び、氷川フェスティバルなどの異学年交流を進め豊かな心を育てる。
④地域の方に畑を借りてのサツマイモ栽培（学校ファーム）や学校応援団の取組を通して、地域との交流を進める。
（３）成果
『潤い』はあいさつや美しい環境で、『響き』は子ども・保護者・地域と学校の連携を表している。授業や行事、様々な体験活動の中で、子どもたちの、分かった、がんばったという一つ一つの事実の積み重ねが、子どもたち一人ひとりの成長につながっている。

八幡北小学校

創立年月日 昭和54年4月1日
学級数 16学級 校長 青柳 晃一
児童数 472人 教頭 田中 茂



<教育目標>

なかよく(徳) かしく(知) たくましく(体)
<研究主題等> 自ら学び、考える児童の育成
<重点教科等> 算数科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「咲け 実れ 八北の子」～明るく楽しく笑顔で前向きに!
(2) 取組内容
①積極的な生徒指導を徹底する(凡事徹底)
②学級経営を大切に学習指導
③国際理解教育の推進(国際交流・異文化交流)
④学年で取り組む教育指導
※5つの「0」・いじめ0・不登校0・学校事故0・
むし歯0・給食未納0
⑤確かな学力を育成するための算数科の校内研修
⑥基礎・基本の定着を図るステップタイムの活用
⑦朝の読書タイムの充実
⑧週2回朝のスポーツ(4分間走・なわとび)
⑨地域との連携(八北まつり・みどりの学校ファーム八北
農園・ふれあいプール 等)
(3) 成果
①基本的な生活習慣・学習規律が身についてきている。
②外国語活動の指導方法について綿密な計画のもと、充実
した学習活動が成立し、英語に親しむ児童が多くなった。
③交流活動を通し思いやりの心や豊かな心の醸成につな
がった。
④国際交流を通して世界の中で生きる人間としての自覚が
児童、教師の中に深まりつつある。

長栄小学校

創立年月日 昭和55年4月1日
学級数 13学級 校長 佐藤 泰子
児童数 411人 教頭 岡田 安弘



<教育目標>

よく考える子(知)
思いやりのある子(徳) たくましい子(体)
<研究主題>
「説明文における言語活動の充実」
<重点教科等>
国語科、幼保小・小中連携教育
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「夢に向かってがんばり続ける子」
(2) 取組内容
①授業等を通した基礎・基本の定着
◇国語科の授業研究
◇全学年の算数の少人数学習指導
◇長栄小の基礎・基本の徹底
②人、本、自然等とふれあう体験活動
◇読書・音読活動・ペア学級の活動
「ポプラ学習」(総合的な学習の時間)
③地域や平成塾との連携・交流
◇平成塾による読み聞かせ・茶道教室等、
ぼうはん隊活動
(3) 成果
①基礎学力(特に、読書量・英語活動)の充実が
図られた。
②国語科の研究を通して、「読みを深める力」や
「音読」の向上が図られた。

青柳小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
学級数 15学級 校長 吉田 晃
児童数 436人 教頭 砂田 武邦



<教育目標>

(あ)ー明るく元気な子(お)ー思いやりのある子
(や)ーやりとげる子(ぎ)ーきたえる子
<研究主題> 数学的な思考力の育成に関する研究
～文章題の指導を通して～
<重点教科等> 算数
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「元気なあいさつ、笑顔あふれる学校」
(2) 取組内容
①青小っ子の基礎基本の取り組み
・国語の学習で読み、書き、伝える力を育てる
・算数の学習では、文章題の指導を通して数学的な思考力
を育てる
・外国語活動ではコミュニケーション能力を身につける
・あいさつ、返事の習慣化を図る
・学習環境の充実、学習規律の確立を図る
・体力の向上、特に縄跳び運動の習慣化を図る
②地域との連携
・地域の人材の活用
・地域ぐるみの安心安全運動の推進
・体験活動、奉仕活動の推進
(3) 成果
あいさつを交わしあえる学校、学習に意欲的に取り組む
児童、研鑽に励む教師、そんな学校に着実に成長していま
す。

小山小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
学級数 18学級 校長 内田 高司
児童数 568人 教頭 石塚 光夫



<教育目標>

進んで学ぶ子、体をきたえる子、思いやりのある子
ねばり強い子
<研究主題>
豊かな言葉で、自分の思いや考えを伝え合うことが
できる児童の育成
<重点教科等>
国語科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「めあてをもって努力する子」
～元気いっぱい、笑顔いっぱい、汗いっぱい～
(2) 取組内容
①落ち着いた教育環境の構築(安心・安全で潤いのある学校)
・礼を正し、場を清め、時を守る;あいさつ・清掃・チャイム
②一人ひとりを大切にする教育(子どもに出番のチャンス)
・基礎基本の定着で学力向上;授業力自己診断シートの活用
・継続指導の重視;草加っ子の基礎基本の取組、小山小ス
ーパー漢字博士、「10分×学年」の家庭学習の習慣化
③居甲斐が持てる学校生活といじめの根絶
・学年、学級経営の充実;児童理解を深め学年教師集団で歩む
・生徒指導の充実;よい子のきまりの徹底、ハートの日の活用
(3) 成果
①明るいあいさつと返事ができるようになった。
②3つの達成目標において全体で平均2ポイント上昇した。家庭
学習の定着率は92%だった。漢字の学習に意欲的だった。
スーパー漢字博士が前年比15%増えた。
③94%の児童が「学校が楽しい」と答えている。また、いじめ
や問題行動はなかった。

両新田小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 16学級 校長 須山 恵子
 児童数 474人 教頭 鈴木 恒次



松原小学校

創立年月日 平成21年4月1日
 学級数 14学級 校長 武井 一美
 児童数 417人 教頭 早津 次仁



＜教育目標＞ 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子
 ＜研究主題＞ 「両小っ子の学力向上を目指して」
 ～国語科 自分の思いや考えをもち、
 適切に表現する児童の育成～
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 「あたたかさで真剣さがみなぎる学校」
 「学力・気力・体力の3つの力もちを育てる学校」
 (2) 取組内容
 ①たてわり活動
 ペア遠足、誕生日給食、両小フェスティバル
 ②両小っ子の基礎・基本の徹底
 チャレンジタイム、両小寺子屋の実施で学力向上
 ③礼を正し、時を守り、場を清める
 教職員・児童・保護者・地域の方々に見える活動
 を通して、健全育成を推進
 ④幼保小中の積極的な連携
 幼保・小連携事業の協力校
 小中合同あいさつ運動
 ⑤地域の中で輝く学校
 下校時見守り、朝の読み聞かせ、ものづくり体験等、
 学校・PTA・地域一体となった学校応援団活動
 (3) 活動の成果
 ①温かい地域に見守られ児童はやさしい子に育っている
 ②落ちついた授業態度、元気いっぱいの毎日で、明るく
 楽しい学校生活をおくっている。

＜教育目標＞ 心身ともに健康で、自ら学ぶ子
 ＜研究主題＞ 『基礎基本を中心とした確かな学力を身に
 付ける児童の育成』
 ＜重点教科等＞ 「国語科」を中心とした取組
 ～書く力を身に付ける指導の工夫～
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 『みんなで力を合わせ、元気いっぱい、
 笑顔いっぱいの学校』
 (2) 取組内容
 ○学校応援団等の地域力を活用した自然・社会体験的な
 教育活動のより一層の充実を図る。
 ○児童会の朝のあいさつ運動を推進し、毎日元気・笑顔
 いっぱいの豊かな心の全校児童を目指す。
 ○草加っ子基礎・基本の定着、教育に関する3つの達成
 目標の検証
 ○毎日の業間マラソンで「たくましい体」づくりを目指す
 ○獨協大学、近隣中学校との連携による外国語活動や家庭
 学習の充実による「自ら学ぶ」子の育成を推進する
 ○「友だちいっぱい大集会」やボランティア「はなぐり
 物語」による読み聞かせや俳句づくりなど、「笑顔いっ
 ぱいの学校」づくりを目指す。
 (3) 成果
 ・保護者・地域の方の支援を得て、児童一人一人の個性を
 大切にしたい教育活動が進められてきている。
 ・PDCAサイクルで検証・実践を進めながら、書く力の
 確実な定着が図られてきている。

市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、平成24年5月1日現在)

学校紹介の内容

- ＜教育目標＞
- ＜研究主題＞
- ＜重点教科等＞
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞

など

草加中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 21学級 校長 細川 昭二
生徒数 689人 教頭 鈴木 有津子
教頭 市川 啓二



- ＜教育目標＞ 目標を持ち、努力する生徒
- ＜研究主題＞ 『草加っ子の基礎・基本』の定着
～基礎学力、規律ある生活、健康・体力～
- ＜重点教科等＞ 全教科、領域
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 - (1) キャッチフレーズ
「あ・か・つ・き」の実践
 - (2) 取組内容
 - ①わかる授業の実践により、基礎・基本の定着を徹底し「教育に関する3つの達成目標」を具現化する。
 - ②生徒の目指す「あかつき」を支援する。
あ・・・明るい あいさつ（規律）
か・・・活発な かつどう（自主）
つ・・・強い つながり（友情）
き・・・今日を 切り開く（向上）
 - ③授業や部活動を積極的に推進し、体力の向上を図る。
また、安心・安全な学校環境のもと健康教育の充実を図る。
 - (3) 成果
 - ①向上心を持ち共に協力し合い意欲的な学校生活を送り、明るく活発な学校の雰囲気醸成されている。
 - ②部活動では県大会をはじめ関東・全国大会への出場を果たし、文武両道を実践している。

栄中学校

創立年月日 昭和39年4月1日
学級数 17学級 校長 川崎 淳一郎
生徒数 506人 教頭 小泉 俊一



- ＜教育目標＞○自ら学び考え行動する生徒
○豊かな心で互いに協力しあう生徒
○健康で気力と体力のある生徒
- ＜研究主題＞ 確かな学力の向上を目指して
～個を生かした指導の実践～
- ＜重点教科等＞ 全教科・領域
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 - (1) キャッチフレーズ
勉強するぞ！栄中 校則守るぞ！栄中
いじめしないぞ！栄中 自然守るぞ！栄中
 - (2) 取組内容
 - ①数学・英語の少人数指導と校区内小学校との外国語授業交流
 - ②朝の挨拶運動、校地内外のクリーン活動の実施
 - ③体験的な学習・ボランティア活動の充実
 - ④学校農園を利用したサツマイモの栽培
 - ⑤校内の草木、野鳥等の環境・掲示教育への活用
 - (3) 成果
 - ①学習内容が確実に身に付くようになり、進路の自己実現が図れるようになった。
 - ②季節ごとに変化する草花や樹木を写真掲示し、身近な動植物に関心を持たせることができた。
 - ③サツマイモの生産活動を通し、自然を慈しみ、守り育てることの大切さを学ぶことができた。

谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 23学級 校長 石田 明男
生徒数 745人 教頭 今泉 正之



- ＜教育目標＞○自ら学ぶ生徒（知）
○思いやりのある生徒（徳）
○自ら鍛える生徒（体）
- ＜研究主題＞ 生徒一人ひとりに確かな学力を身につける指導法の研究
- ＜重点教科＞ 全教科・特別支援教育
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 - (1) キャッチフレーズ
「文武両道」
 - (2) 取組内容
 - ①数学・英語の少人数指導の充実
・「わかる授業」による確かな学力の育成
・授業を中心とした研修の充実
 - ②学校間連携を図った、キャリア教育の充実
・県立草加南高校、学区内小学校との交流
・出前授業の実施による学ぶ意欲の向上
 - ③地域社会との交流を通した豊かな心の育成
・保護者、地域の人材を生かした教育活動
・部活動指導の充実
・地域の行事への参加
 - ④66年の伝統に根ざした教育
・あいさつ運動、部活動
 - (3) 成果
学校間連携や地域との交流を通し、さわやかなあいさつの定着、主体的な学習への取組、部活動の充実、活発な諸行事等着実な活動の展開が見られた。

川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 20学級 校長 石神 優
生徒数 610人 教頭 本間 錦一



<教育目標>

「賢く・優しく・逞しく」

<研究主題>

「学力向上を図るための効果的な指導の在り方」
～学習指導と生活指導の一体化を目指して～

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) 目指す学校像

- ・情熱と教育愛に満ちた教職員が躍動する学校。
- ・知性あふれる善良な生徒が集う学校。

(2) 取組内容

- ①学力向上を目指した教科経営と学習指導の充実
基礎学力の定着と進んで学習に取り組む生徒の育成。
また、校内学力向上推進委員会や教科会の充実。
- ②中学校区における小中学校間の連携
9年間を見通した学習規律や生活指導の在り方の検討を行う。また、教職員の交流や生徒会、部活動での交流を推進する。
- ③社会良識・規範意識を育てる生徒指導の充実
積極的な生徒指導の展開（声かけ、一人ひとりに活躍の場を与える）をする。
- ④開かれた学校づくり
地域に開かれた学校を目指し、家庭・地域社会との連携と「学校応援団」との協働。

(3) 成果

学習指導と生徒指導を両軸にすえ、生徒に対して組織的な教育活動を展開している。また、小中学校連携により、基礎学力の定着や学習規律の確立が図られている。

新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数 19学級 校長 福島 章雄
生徒数 632人 教頭 水澤 邦夫



<教育目標>

- 1 自ら学ぶ生徒 (知)
- 2 思いやりのある生徒 (徳)
- 3 健康でたくましい生徒 (体)
- 4 正しい行動のできる生徒 (社会性)

<研究主題> 「人間力の育成」

学力向上とスキル教育を通して、生きる力を育む

<重点教科等> 全教科・領域

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ 「人間力を育む学校」

(2) 取組内容

- ①知－朝読書、基礎基本を重視した授業、木曜テスト
授業6ヶ条、英語検定、漢字検定、学習相談
- ②徳－PTAとの朝のあいさつ運動、
環境教育（学校ビオトープ、野鳥・野草観察会）
全校で協力して取り組む行事（体育祭文化祭）
- ③体－基礎体力づくり、種目選択体育授業、
活発な部活動
- ④社会性－スキル教育、体験型学習

(3) 成果

朝読書や授業での基礎を大事にした取り組みを通じて生きる土台を、加えて環境教育やスキル教育を通して、豊かな心や社会性が着実に育ってきている。

瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数 23学級 校長 並木 正成
生徒数 817人 教頭 中谷 浩一



<教育目標>

○豊かな教養（知）○豊かな心（徳）○健やかな体（体）

<研究主題>

○豊かな心を持ち一人一人が本気で学ぶ生徒の育成
～「教育に関する3つの達成目標」の取り組みを通じて～
<重点教科等> 全教科、領域

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ

「あいさつ日本一・自ら考えたくましく実践する生徒」

(2) 取組内容

- ①豊かな教養
・基礎学力の定着と意欲・関心を高め、個性を生かす授業の展開、朝読書、保育実習、性出会い学習
- ②豊かな心
・あいさつ運動（愛の一声運動）、規律ある態度の定着、ボランティア活動（高齢者運動会）、花いっぱい運動、美化活動（保護者・地域の方と共に）
- ③健やかな体
・部活動への積極的参加と充実
- ④未来
・社会体験事業、上級学校訪問

(3) 成果

様々なふれあいや体験を通し、認め合い共に生きる心が培われている。地域の人材を活用し、生徒の興味・関心に応じた学習を行い、自己の生き方について問い直す力がついてきている。

花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 17学級 校長 板倉 真須夫
生徒数 540人 教頭 中村 常雄



<校訓> 「自主創造」

<教育目標> 「自ら考え、心豊かに、たくましく生きる」

- 学力を伸ばす生徒 (知)
- 豊かな心を育てる生徒 (徳)
- 心身共に健康な生徒 (体)

<学校生活の指針> 「生きる力4カ条」

- 1 時間を守る力
- 2 授業に真剣に臨む力
- 3 身だしなみを整える力
- 4 わきまえた言葉遣いのできる力

<研究主題> 「草加っ子の基礎・基本」の定着を目指して ～「生きる力4カ条」の定着を通して～

<重点教科等> 全教科、領域

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) めざす学校像「夢、ふれあい、感動のある学校」

(2) 取組内容

- ① 学習指導の充実
・わかる授業の推進と基礎学力の定着
・授業規律の確立、家庭学習を習慣化させる取り組み
- ② 生徒指導・教育相談の充実
・「目をかけ、手をかけ、声をかける」指導の促進
- ③ 豊かな心を育む教育の推進
・生きる力4カ条の実践
- ④ 心潤う生活環境づくり
・「ふれあい広場」、「憩いの花空間」の有効活用

(3) 成果

保護者や地域の理解と協力をいただき、生徒たちは授業や行事に主体的に取り組んでいる。

両新田中学校

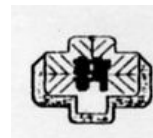
創立年月日 昭和54年4月1日
 学級数 15 学級 校長 山本 好一郎
 生徒数 541 人 教頭 渡部 康弘



＜教育目標＞ 自ら学び 心豊かに たくましく
 ＜研究主題＞ 「基礎基本の定着を図るための授業力の向上」
 ～言語活動の充実を通して～
 ＜重点教科等＞
 ・一人ひとりを生かす生徒指導の充実
 ・学ぶ意欲を育てる授業充実
 ・言葉を大切にする学校
 ・落ち着きある教育環境整備
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 生徒一人一人を大切に教育の実現
 (2) 取組内容
 ○一人ひとりに基礎・基本を身につけさせる
 ①表記、発表をはじめとする具体的な学習活動に反映できるように働きかける。
 ○一人ひとりのよさ・可能性を見出し伸ばす
 ②自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるよう日常の指導を徹底する。
 ○一人ひとりの命と健康を守る
 ③震災発生時対応、危機管理体制の一層の充実を図る。
 (3) 成果
 生徒一人ひとりの活動に対して、認め、成果を評価することによって、意欲・誇りを持ちながら積極的に学校生活を送る生徒が増えてきた。また、学校全体の活性化へとつながっていった。

新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日
 学級数 15 学級 校長 福田 實
 生徒数 498 人 教頭 藤本 隆広



＜教育目標＞ 豊かな心と学ぶ意欲をもち 広い世界でたくましく生きる生徒
 ＜研究主題＞ 「自ら考えて行動できる生徒の育成」
 (考える力を育成するための指導と評価の工夫)
 ＜重点教科等＞ 全教科、領域
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 共に学び合う生き生きふれ合いスクール
 (2) 取組内容
 ①長栄小学校とのペアスクール促進事業として小中合同集会、合同避難訓練や作品交流、合同花植えを実施するなどの積極的な交流を図る。
 ②吹奏楽部の地域行事への参加など、地域と積極的に関わり、地域との交流を図る。
 ③地域清掃活動、職場体験学習、自然体験教室等の体験を通して、豊かな感性を養う。
 ＜めざす学校像＞
 「大きな夢・明るいあいさつ・美しい心・きれいな学校」
 ・わかる授業、考え・表現させる授業を実践し、学ぶ喜びが味わえる学校
 ・あいさつ・返事ができ、明るく活力ある学校
 ・安心して生活でき、きれいで潤いのある学校

青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日
 学級数 14 学級 校長 藤谷 和史
 生徒数 442 人 教頭 丹羽 尊司



＜教育目標＞ 自ら考え実践する生徒 (知)
 心豊かで思いやりのある生徒 (徳)
 健康でたくましい生徒 (体)
 ＜研究主題＞ 豊かな心と人間力の育成
 ＜重点教科等＞ 全教科・領域、教育相談・生徒指導
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ 「育もう青中4つの心！」
 あ 明るい心 お 思いやりの心
 や やればできる心 ぎ 礼儀正しい心
 (2) 取組内容
 ①基本的な生活習慣や行動様式の定着
 (凡事徹底、無言集会、積極的な生徒指導)
 ②確かな学力の核となる、基礎・基本の確実な定着
 (朝自習、家庭学習ノート、研究授業の実施)
 ③元気あふれる生徒、活気ある教職員
 (教職員・生徒会・保護者による朝のあいさつ運動)
 ④生涯を通じた健康・体力づくりの推進
 (授業や部活動での体力向上、食育・健康教育)
 ⑤互いに尊重し合い、いじめのない学校
 (人権教育、特別支援教育の推進)
 (3) 成果
 毎朝のあいさつ運動により、多くの生徒が明るく元気な挨拶ができている。清掃活動にしっかり取り組み、きれいな環境が保たれている。授業改善や朝自習などによる基礎・基本の定着により、学力向上が図られている。

松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日
 学級数 16 学級 校長 水澤 恒道
 生徒数 528 人 教頭 笠井 誠司



＜教育目標＞ ま：学ぶ意欲のある生徒
 つ：強い心と体をもつ生徒
 え：笑顔あふれる生徒
 ＜研究主題＞ 生きる力を育む言語活動
 ＜重点教科等＞ 全教科
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ 「笑顔あふれる松江中」
 (2) 取組内容
 ①思考力・判断力・表現力を育む言語活動の工夫
 ②確かな学力を身につける学習指導、家庭学習習慣の育成
 ③「教育に関する3つの達成目標」の達成にむけた基礎・基本の徹底
 ④毎日の朝読書で落ちついた朝のスタート
 ⑤生徒会が中心となつての「あいさつ運動」の展開
 ⑥心に潤いを与える掲示環境づくり
 ⑦花壇の整備、野菜の栽培等で豊かな心の育成
 ⑧社会体験事業による地域事業所との連携
 ⑨授業及び学校行事を地域・保護者への公開
 (3) 成果
 ①朝の授業前に静けさと潤いが醸成されている。
 ②人と人とのやわらかい人間関係が育まれている。
 ③意欲的に学習に取り組む生徒が増えている。
 ④生徒の心を潤す掲示が増えている。

III 生涯學習

豊かなまちづくりにつながる生涯学習の推進

1 生涯学習推進体制の整備充実

(1) 生涯学習施設の整備

(仮称) 谷塚西文化センターの整備について、計画的にすすめます。

(2) 草加市社会教育委員会議

社会教育の諮問機関として社会教育を含めた生涯学習の答申、意見具申等により草加市にふさわしい生涯学習社会の構築を図ります。

(3) 草加市生涯学習市民推進会議

本市の生涯学習の総合的な推進を図る組織として、生涯学習の実践活動や普及奨励のため部会を設けその実施を担っています。主な取組としては、次のとおりです。

- ・ 市民への生涯学習情報提供のため、生涯学習事業や公共施設で活動しているサークル・団体を掲載した生涯学習情報紙「マイ・ステージ」を発行します。
- ・ 生涯学習の指導者を登録して、学習を希望する市民に指導者の情報を提供する生涯学習指導者バンクの更なる充実を図ります。

指導者バンク

年度	登録者数	活用者数
H21	158 人	25 人
H22	160 人	29 人
H23	116 人	33 人

(4) そうか市民大学の充実

学ぶことを喜びとし、現代的課題や行政課題、地域課題などを広く学び、学習の成果を生活の改善や職業能力の再生にいかしながら、まちづくりにも貢献する生涯学習社会の構築に向けて、市民大学推進委員会とともに企画・運営するそうか市民大学の充実を図ります。

開学8年目を迎える本年度は、春期・秋期講座、特別公開講座を開設します。

(5) 社会教育関係団体への支援

社会教育に関することを主な目的として活動する社会教育関係団体の登録や活動支援を行います。

社会教育関係団体

年度	登録団体数
H21	553 団体
H22	572 団体
H23	456 団体

2 生涯学習活動の充実

(1) 獨協大学オープンカレッジの支援

獨協大学オープンカレッジの講座を支援します。

(2) 上野学園大学短期大学部の支援

上野学園大学短期大学部の公開講座を支援します。

(3) 平成塾の管理運営

地域の高年者のふれあいや生きがい、共同学習の場として、また地域の子どもたちとの世代間交流の場として、平成塾の講座等の充実を図ります。

文化遺産の保存や市史の継承と活用

(1) 文化財の保存、継承

貴重な文化遺産を郷土の文化財として保存・継承するために、指定文化財のパトロール及び埋蔵文化財包蔵地の管理を行います。

(2) 文化財保護審議会及び文化財調査委員

文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関して審議するとともに、必要と認める事項を建議します。

文化財調査委員は、文化財の調査及びその活用に関して、所有者などへの説明や相談にあたります。

(3) ふるさと歩道整備

市内の歴史的建造物や文化財、史跡などをめぐる散策コースに自然木を使った道標や案内板を設置しています。

(4) 歴史講座

市民を対象に、草加の歴史に関する様々なテーマで講座を開催します。

年 度	テ ー マ
H21	埼玉県立歴史と民俗の博物館、武蔵一宮氷川神社見学
H22	豊田城（茨城県常総市）、関宿城（千葉県野田市）、 キッコーマンもの知りしょうゆ館（千葉県野田市）見学
H23	旧花輪小学校記念館、岩宿博物館、 わたらせ渓谷鉄道上神梅駅舎（すべて群馬県みどり市）見学

(5) 草加ビデオライブラリー

草加の歴史をテーマにして製作したビデオライブラリーの一層の活用を図ります。

生涯学習施設の紹介

○公民館

〔中央公民館〕

開館年月：昭和41年7月（昭和56年10月移転）

所在地：草加市住吉二丁目9番1号

電話番号：922-5344

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 4,497.91m²

敷地面積 5,342.1m²

平成24年度主要事業：小学生の職場訪問、おはなしのへや、ヘルシークッキング、男性専科、健康づくりひろば、さわやかシニア大学、環境講座、青少年コンサート、第40回中央公民館まつり、第21回美術展、ギャラリー企画展ほか

・施設内容

（単位：人）

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	415	第2体育室	84
第1会議室	46	視聴覚室	60
第2会議室	24	美術工芸室	20
第3会議室	26	第1講座室	54
クラブ室	18	第2講座室	37
調理室	40	図書室	—
和室研修室	35	ギャラリー	—
第1体育室	167		

〔柿木公民館〕

開館年月：昭和44年5月（平成14年9月移転）

所在地：草加市柿木町1263番地

電話番号：931-3117

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 970.27m²

敷地面積 1,976.28m²

平成24年度主要事業：柿木郷土まつり、心と身体健康講座、柿木シニア講座、郷土芸能保存育成、生きものふれあいフェスタ、柿木親子元気ルームほか

・施設内容

（単位：人）

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	130	和室会議室	20
調理実習室	20	会議室	30
実習室	24	図書室・学習室	16席

〔谷塚西公民館〕

開館年月：昭和46年4月1日

所在地：草加市新里町1015番地

電話番号：927-3362

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 416m²

敷地面積 917.15m²

平成24年度主要事業：子ども環境学習教室、ものづくりチャレンジ教室、すくすくクラブ、いきいき楽集クラブほか

・施設内容

（単位：人）

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	70	調理実習室	16
会議室	25	図書室	—
和室会議室	15		

〔新田西文化センター〕

開館年月：平成22年4月

所在地：草加市清門町571番地

電話番号：942-0778

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1225.48m²

敷地面積 2136.79m²

平成24年度主要事業：子どもサマーランド、家庭教育学級、高年者学級「笑いのつどい」、第3回新田西文化センターまつりほか

・施設内容

（単位：人）

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	200	和室	20
第1会議室	24	調理室	24
第2会議室	36	図書コーナー	—
第3会議室	54	託児室	—
実習室	24	準備室	—

〔谷塚文化センター〕

開館年月：昭和52年1月（平成19年4月移転）

所在地：草加市谷塚仲町440番地

電話番号：928-6271

構造・面積：鉄筋コンクリート造4階建

延床面積 2,330m²

敷地面積 18,756m²

（敷地面積は、谷塚小学校、谷塚児童クラブを含む）

平成24年度主要事業：小学生との世代間交流、

土曜わくわく広場、子ども自然・科学教室、

子育て学級・すくすくクラブ、高年者学級、

第10回地域音楽のつどいほか

・施設内容

（単位：人）

施設名	収容人数	施設名	収容人数
相談室	20	第1楽屋	12
第1学習室	60	第2楽屋	6
第2学習室	50	中会議室	30
実習室	45	小会議室	20
第1和室	35	家庭科室	45
第2和室	25	図書室	—
ホール	300	展示コーナー	—

（家庭科室、図書室は小学校との共用施設）

〔川柳文化センター〕

開館年月：昭和55年4月

所在地：草加市青柳六丁目45番17号

電話番号：936-4088

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 1,359.23m²

敷地面積 3,301m²

平成24年度主要事業：夏休み子ども教室、公民館

ボランティア養成講座、高年者のたまり場「ひびき」、第24回地域コミュニティのつどいほか

・施設内容

（単位：人）

施設名	収容人数	施設名	収容人数
体育室	200	和室研修室	30
クラブ室	20	調理室	30
視聴覚室	30	図書室 学習室	15
会議室	50		
実習室	30	託児室	15

○歴史民俗資料館

歴史民俗資料館は、郷土の歴史資料や民俗資料などを収集・保管・展示することにより、教育・学術・文化の発展に寄与することを目的とし、昭和58年に開館しました。

資料館の建造物は、大正15年に県下初の鉄筋コンクリート造校舎として建設された草加小学校西校舎を改修したものです。耐震・耐火に優れ、また屋上に運動場が設けられるなど、建設当時としては大変近代的な建造物でした。平成20年10月には、「造形の模範になっている」建造物であることが認められ、国の登録有形文化財に登録されました。

このことを受け、歴史民俗資料館の文化財としての更なる活用と施設の管理運営の充実を図るため、平成21年度からは平成18年度から導入していた指定管理者制度を廃止し、資料館の管理運営を草加市教育委員会の直営としています。

館内には、2,364点余りの資料を保管しています。

・来館者の推移

年度	来館者数
H19	7,002人
H20	9,652人
H21	10,729人
H22	13,624人
H23	15,707人

開館年月：昭和58年11月

所在地：草加市住吉一丁目11番29号

電話番号：922-0402

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 696m²

敷地面積 762.12m²

草 加 市 立 中 央 図 書 館

開 館 日：平成12年4月1日

所 在 地：草加市松原一丁目1番9号

電 話 番 号：946-3000

F A X：944-3800

構造・面積：鉄骨・鉄筋コンクリート造／地上5階／専有面積4,803.54㎡

＜平成24年度 図書館運営方針＞

市民の知的要求に応え、利用者が必要とする情報提供の場として、多様できめ細かなサービスを提供します。

また、公民館図書室、小学校サービスコーナー及び地域開放型図書室の充実及び効果的な運営を推進します。

- 1 社会情勢の様々な変化にともなって多様化・高度化する利用者ニーズに応えるため、資料の整備・充実に努めます。
- 2 調査研究から身近な疑問まで、市民の問題解決を支援するため、レファレンスサービス（参考調査）の充実に努めます。
- 3 障がい者（図書館利用に障がいのある人）に対する読書支援活動を推進します。
- 4 子どもの読書活動推進のため、児童サービスの充実を図ります。
- 5 地域開放型図書室では地域分館的機能の強化を図るための検討を行うとともに、学校及び大学との連携を推進します。
- 6 図書館利用の促進及び読書活動の推進のため、文化事業を実施します。
- 7 快適な読書環境を提供するため、図書館施設・設備の的確な管理運営に努めます。

＜平成23年度利用状況＞

1 入館者数・登録者数

開館日数	入館者数			登録者数			
	一般室	児童室	合計	一般	学生	児童	合計
303	561,287	98,995	660,282	115,648	26,267	16,511	158,426

2 貸出冊数

中央図書館					サービス コーナー	地域開放 型図書室	公民館文化 センター	合計
一般書	児童書	雑誌	AV資料	計				
782,091	213,551	28,777	58,041	1,082,460	165,373	17,175	101,531	1,366,539

3 蔵書場所別・資料種別蔵書冊（点）数

	一般書	児童書	図書計	雑誌	C D	カセット	ビデオ	D V D	A V 計	総合計
中央図書館	374,479	82,269	456,748	15,503	8,338	318	1,761	1,044	11,461	483,712
公民館・文化センター	17,104	23,421	40,525	160	0	0	0	0	0	40,685
サービスコーナー	16,329	62,196	78,525	0	0	0	0	0	0	78,525
合計	407,912	167,886	575,798	15,663	8,338	318	1,761	1,044	11,461	602,922

IV 人 權 教 育

人 権 教 育

1 学校教育における人権教育

(1) 教育活動全体を通しての人権教育の取組

- ① 人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、同和問題をはじめとする様々な人権問題を解決しようとする児童生徒の育成を図っています。
- ② 人権教育の着実な実践を図るために、児童生徒及び地域の実態を把握し、同和問題をはじめとする様々な人権問題を解決するための具体的な目標を設定し、人権教育全体計画を作成し、実践しています。
- ③ 児童生徒の発達段階を踏まえ、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の年間指導計画に人権教育を位置付け、実践しています。
- ④ 豊かな人権感覚を身につけ、主体的に行動できる児童生徒を育てるため、全教職員の共通理解を図り、教育活動全体を通して一人ひとりを大切にする授業の在り方について研究しています。
- ⑤ いじめや仲間はずれの無い、お互いに協力し合う明るい学級づくりに努めています。

(2) 人権を尊重する教育の徹底と啓発活動の取組

草加市人権教育推進協議会と協力し、啓発活動を推進しています。

- ① 人権教育主任研修会
- ② 人権教育授業研究会
- ③ 初任者教員人権教育研修会
- ④ 3年次教員人権教育研修会
- ⑤ 学校管理職人権教育研修会
- ⑥ 人権教育校内研修会
- ⑦ 人権を考える市民のつどい
- ⑧ 草加市人権文集「なかま」の発行
- ⑨ 草加市人権標語ポスター作成
- ⑩ 現地研修会

2 社会教育における人権教育

社会教育の各分野において、同和問題をはじめとする各人権課題に対して総合的かつ計画的に人権教育・啓発を推進し、市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、全ての人が相互に存在を認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指しています。

(1) 公民館での人権教育講座の開催

市内6か所の公民館・文化センターで人権教育講座や講演会等を行い、様々な人権問題に対して理解を深めていけるような学習プログラムを設け、市民が学習できる場を提供します。学習方法についても人権啓発ビデオの視聴を取り入れるなどの工夫をします。

(2) 人権教育講演会の開催

講演会・研修会等を開催し、また他団体・機関等と共催することで幅広く人権教育の推進を図っていくよう努めます。

- ① 連合婦人会人権教育講演会
- ② 人権を考える市民のつどい
- ③ 企業内人権・同和問題研修会 ほか

(3) 吉町集会所事業

吉町集会所は、同和問題をはじめとする社会人権教育を推進し、市民の会議、集会等に行うために設置されており、施設運営については、地域の関係団体・機関から委員を選出した運営委員会を中心に行います。

①少年教室、女性教室、成人教室の開催

各教室において人権学習会を取り入れることにより、人権意識の高揚が図れるよう努めます。

②吉町集会所まつりの開催

吉町集会所利用団体による成果発表、人権教育講演等を行い、人権問題に対する理解をより深めながら利用者同士の交流を図ることで、平和で住みよい社会が形成できるように努めます。

吉 町 集 会 所

開 館 年 月：昭和58年4月

所 在 地：草加市吉町三丁目9番24号

構 造 ・ 面 積：鉄筋造2階建 延床面積 281.51 m² 敷地面積 587.63 m²

V 資 料 編

草 加 の 教 育 の 沿 革

年度	月 日	主 な こ と が ら
昭和 6 1	4 月 1 日 6 月 7 日 1 0 月 1 日	指導課と青少年課を統合し、指導・青少年課に 奥日光自然の家設置 (財)草加市体育協会設立
6 2	7 月 3 1 日 8 月 1 日	青少年健全育成市民会議発足 語学指導助手をはじめて採用
6 3	8 月 2 1 日 8 月 2 2 日 1 0 月 1 5 日 1 1 月 1 日 1 1 月 5 日 1 1 月 1 3 日	新栄中学校第 18 回全国中学校バスケットボール大会優勝 花栗中学校第 18 回全日本中学校バレーボール選手権大会優勝 草加市民管弦楽団発足 新草加市民憲章制定、草加市歌制定 第 1 回奥の細道国際シンポジウム 中日友好バレーボール親善試合
平成 元	7 月 7 日 1 1 月 2 4 日	草加平成塾開塾 第 1 回国際ハーブ・フェスティバル
2	7 月 2 日	栄平成塾開塾
3	4 月 1 日 7 月 1 8 日	生涯学習課課名変更（社会教育課を生涯学習課に） 新田平成塾開塾
4	9 月から 9 月 2 4 日	学校週 5 日制（月 1 回）実施 両新田平成塾開塾
5	6 月 2 2 日 1 0 月 1 8 日	草加市音楽都市宣言 八幡北平成塾開塾
6	1 1 月 7 日	新栄平成塾開塾
7	4 月から 1 1 月 3 0 日	学校週 5 日制（月 2 回）実施 瀬崎平成塾開塾
8	1 0 月 2 6 日	小山平成塾開塾
9	1 1 月 3 0 日	氷川平成塾開塾
1 0	1 1 月 1 日 3 月 1 日	清門平成塾開塾 青柳平成塾開塾
1 1	4 月 1 日 1 1 月 1 5 日	特色ある学校づくり推進事業開始 長栄平成塾開塾
1 2	4 月 1 日 1 1 月 1 5 日 2 月 2 6 日	草加市立中央図書館オープン 新里平成塾開塾 教育相談室リニューアルオープン（氷川町から松江町へ）
1 3	4 月 9 日	草加市立中央図書館来館者 1 0 0 万人に
1 4	4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日 5 月 8 日 8 月 7 日 9 月 1 日	学校週 5 日制完全実施 勤労青少年ホームを教育委員会所管に 子ども週末活動支援モデル事業開始 学校教育部、生涯学習部が新設、併せて青少年課を新設 新学習指導要領全面实施 学校評議員制度市内全小中学校でスタート 八幡平成塾開塾 安陽市との国際教育交流協議書を締結 柿木公民館を改築
1 5	4 月 2 6 日 4 月から 9 月 1 日 9 月 1 7 日	冒険遊び場（プレーパーク）開設 西町小学校新校舎供用開始 草加市学校安全の日（学校安全週間）を制定 小学校全校に中央図書館サービスコーナー開設

年度	月 日	主 な こ と が ら
1 6	4 月 6 月 1 日～ 1 0 月 2 9 日 7 月 1 0 日 8 月 1 日 1 0 月 1 日 1 0 月 6 日 1 0 月 2 4 日～ 1 0 月 2 7 日 3 月 3 月 2 1 日	川柳小学校新校舎供用開始 東地総田遺跡第二次発掘調査 柳島スポーツ広場開放 埼玉県東南部地域公共施設・生涯学習講座予約システム（まんまる予約）の開始 草加未来人サポート審議会発足 小中学校全校にてアルミ缶回収開始 まごころ国体「相撲競技」開催 草加市生涯スポーツ振興計画策定 冒険遊び場（プレーパーク）にプレーリーダーハウス完成
1 7	4 月 6 月 1 2 日 7 月 9 月 9 月 1 日 9 月 1 日 9 月 3 日 1 0 月 2 8 日 1 1 月 1 1 月 1 0 日 1 2 月 1 日	教育に関する 3 つの達成目標を踏まえ「草加っ子の基礎基本」を策定し、実践する。 奥日光自然の家開設 2 0 周年式典举行 全校学力調査を実施 公共施設及び学校給食調理業務機器等アスベスト調査を実施、撤去等安全対策に取り組む 全校校地内全面禁煙を実施 草加市立小・中学校県費職員負担教職員指導措置審査会設置要綱制定 そうか市民大学開学 草加中学校屋内運動場・給食棟竣工 不審者による児童生徒被害多発、安全安心の学校づくりに取り組む 綾瀬川出土の丸木舟が保存処理を終え、歴史民俗資料館で展示を開始 獨協大学図書館との連携による市民開放を開始
1 8	4 月 4 月 4 月 4 月 7 月～ 7 月 2 6 日 8 月～ 1 月 2 2 日 3 月 1 5 日	中学校に学校選択制の実施 学校給食調理業務委託を中学校 2 校において実施 スクール・パトロールステーションを小学校 2 2 校区内に設置 草加中学校体育館一般開放 算数・数学学力向上プロジェクトの「寺小屋事業」実施と問題集作成 綾瀬川出土丸木舟、市指定文化財に指定 草加開宿着手 4 0 0 年記念事業の実施（夏期巡回ラジオ体操、なんでも鑑定団 i n 草加、絵画展、俳句展等） いじめ相談「草加っ子元気カード」を小中学校生に配付 谷塚小学校・谷塚文化センター完成竣工式開催
1 9	4 月 1 日 4 月 9 日 4 月 4 月 4 月 2 4 日 8 月 9 月 1 0 月 1 日 3 月	草加市教育相談室を草加市教育支援室に名称を変更 谷塚小学校開校式・谷塚文化センター開館 学校給食調理業務委託を新たに中学校 2 校において実施 A E D（自動対外式除細動器）を全小中学校の保健室に設置 全国学力学習状況調査を実施 奥日光自然の家の施設周辺に野生動物対策のため、電気柵を設置 草加市立北谷小学校・花栗小学校の統合に向け統合協議会を設置 青少年の居場所として青少年交流センターがオープン 財務に関する事務の適正な執行のため、業務改善検討委員会を立ち上げる

年度	月 日	主 な こ と が ら
20	4月 1日 4月 1日 6月 8月20日 9月 10月23日 12月 3月 3月	学校教育部と生涯学習部を統合し、教育総務部を新設 併せて、学校教育課、学校施設・給食課を新設 業務改善検討委員会を受け、教育委員会内部統制チームを発足 小中学校の耐震化計画を見直し、平成25年度100%実施に向けて計画を策定 市制50周年記念事業「子ども議会」を開催 草加っ子土曜寺小屋がスタート 歴史民俗資料館が、草加市初の国の登録有形文化財に登録 教育委員会事務及び評価報告書を市議会12月定例会に提出 松原小学校の開校に伴い、北谷小学校及び花栗小学校が閉校 教育委員会発足50周年記念誌「草加の教育 50年の歩み」を発行
21	4月 4月 4月16日 7月 9月 6日 11月12日 3月 3月31日	松原小学校開校 高砂小学校新校舎供用開始 市内小中校の耐震診断結果を公表する 新型インフルエンザが猛威を震い7月下旬から3月上旬までに小学生5,490人、中学生1,959人が罹患した 地域開放型図書館の開設（高砂小学校） 新型インフルエンザの影響で小中学校なわとび大会及び学校対抗相撲大会が中止となる 国の経済危機対策等の補助金を活用して小学校の校務用及び教育用コンピュータを整備した 新田西文化センターの完成に伴い、新田西公民館が閉館
22	4月 1日 11月 11月 11月11日 3月 3月11日	新田西文化センター開館 松原小学校新校舎竣工 草加市文化財保護基本計画策定 草加市立中央図書館新館開館10周年記念として、「平成22年度中央図書館文化講演会」を開催 松原小学校新校舎完成 午後2時46分、東北地方太平洋沖地震発生 児童・生徒の一斉下校対応・引き取り対応を行う 各小中学校・公民館・文化センターに避難所を開設 食材供給が十分でない中、市内小学校においては、震災後も給食調理業務を継続して行う
23	4月 8日 6月 8日 9月 11月上旬 2月 3月	松原小学校新1年生69人、在校生379人が新校舎で学校生活をスタート 放射線量等の測定を開始 県東部地域特別支援学校（仮称）設置工事に着手 子ども達が日常的に過ごす施設や場所を優先的に放射線量の詳細測定と除染を実施 草加市立中央図書館開館10周年記念誌を発行 草加市教育振興基本計画を策定

草加市の指定文化財

(平成24年4月1日現在)

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	富士浅間神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.32m、奥行 3.60mの流れ造り。随所に豊富な彫刻を配した天保年間の建物で、宮彫(みやぼり)彫刻の技法が優れている。	瀬崎 3-3-24	昭 51.11.15
県	三覚院本堂格間板絵 (絵画)	25 面	格天井(ごうてんじょう)板絵 30 面のうち 25 面の鶯甫(おうほ)印を有する板絵(但し菖蒲図は印未明)。鶯甫(おうほ)芸術を知るにふさわしい遺作で、江戸後期の立派な琳派(りんぱ)作品である。	青柳 4-27-12	市指定 昭 51.11.15 県指定 昭 53. 3.28
市	六角宝幢形経筒 (工芸品)	1 口	筒身及びその台、筒身は 6 枚の長方形の銅板(たて約 9.5 cm、はば約 2.5 cm)に分かれている。六角宝幢(ほうどう)形は全国的にも珍しく、学術上貴重なものである。	柿木町 1759	昭 51.11.15
市	東漸院山門 (建造物)	1 棟	本堂の表門で型式は四脚門。規模は表住間 3.16 m、妻 3.58m。この山門は江戸中期以降の建物であるが、彫刻に迫力があり、また、よくまとまった四脚門の好例である。	柿木町 1286	昭 52. 8. 8
市	宝積寺木造千体地藏 (彫刻)	1000 軀	勝軍地藏、両脇侍地藏、小地藏。江戸後期の造立と思われるが今日まで、完備した姿で伝えられているのは珍しく、貴重な存在である。	金明町 371	昭 52. 8. 8
市	泉蔵院十三仏石像 (歴史資料)	13 軀	十三仏像が個々の形体で、それぞれ独立の立像として、彫刻、配列されているのは他に類がなく貴重である。享保六年(1721)造立の銘あり。	新里町 313	昭 52.8.8
市	泉蔵院六地藏石仏 (歴史資料)	6 軀 1 基	六道別各尊名を刻した六地藏石仏とその供養塔。元禄四年(1691)の造立。六地藏としての体系を具えたもので創立当初からの姿態をよく保存している。	新里町 313	昭 52.8.8
市	関根家所蔵歴史資料 (歴史資料)	40 点	近世及び明治初年の篠葉村関係の文書。検地帳、村絵図、持高帳、その他。保存がよく、草加周辺の雰囲気をよく伝えている。また、草加宿の資料が明治の大火で大半を失っている中で、重要な史実が見出せる可能性がある。	弁天 5-6-18	昭 52.8.8
市	野島家所蔵歴史資料 (歴史資料)	77 点	草加宿村の近世史を解明するうえで大変重要であり、市史研究にとって基礎的な資料である。	氷川町 1500	昭 54.2.20
市	旭神社算額 (歴史資料)	1 面	この算額は、県下でも古い方であり市唯一の算額にして、保存もよく九分通り読み取れる。奉納者の系統も明らかであり(宮城流)、珍しい貴重な文化遺産である。	金明町 1333	昭 54.2.20
市	東福寺鐘楼 (建造物)	1 基	江戸末期のよくまとまった寺院建築物である。	神明 1-3-43	昭 55.3.22
市	十三仏板碑 (歴史資料)	1 基	板碑(いたび)は中世の地域社会を理解するうえで、かけがいのない資料である。十三仏は唯一のものである。	神明 1-3-43	昭 55.3.22
市	長堀家所蔵歴史資料 (歴史資料)	48 点	江戸時代の旧新里村における旧体制から近代化への夜明けと苦悩が浮彫りにされる重要な文書である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭 55.3.22
市	題目板碑 (歴史資料)	1 基	碑の中央に「南無妙法蓮華経」の題目が彫られており、右に北朝年号の至徳三年(1386)の年号が彫ってある。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭 55.3.22

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	寛永十三年山王二十一仏庚申塔 (歴史資料)	1 基	板碑(いたび)型で寛永十三年(1636)丙子(ひのえね)の紀年銘をもつ、草加市域はもとより隣接市区で、最も古い貴重な中世資料である。	稲荷 4-3-23	昭 56.1.31
市	寛文二年地蔵(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 95cm の丸彫り型であり、市域では最も古い(1662)貴重な近世資料といえる。	弁天 6-7-24	昭 56.1.31
市	延宝六年地蔵(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 142cm の光背型立像である。市域で 2 番目に古く(1678)像容がすぐれている点が注目に値する。	弁天 6-7-24	昭 56.1.31
市	万治二年板碑型六地藏 (歴史資料)	1 基	万治二年(1659)の造立は市域で最も古く、板碑(いたび)型の碑面に六体を収めた例は他にはない。	柿木町 1286	昭 56.1.31
市	万治二年板碑型地藏立像 (歴史資料)	1 基	市域では最も早く造立され、後の地藏像が丸彫りか光背型であるのに対して、他に例のない板碑(いたび)型である。	柿木町 565 正福寺跡	昭 56.1.31
市	八幡神社獅子頭 (工芸品)	雌雄一対	高さ 83cm の大型の獅子頭で江戸末期の平面的な技法によって構成されている。江戸末期のものと思われる。	高砂 2-20	昭 56.1.31
市	東福寺本堂内外陣境彫刻欄間 (彫刻)	1 面	この欄間は職人芸で、経費・期間に制約がある中で、また、文献を参考に描くということの不可能な時代の所産にもかかわらず、技法がこまやかであり、構図・刀痕ともに、この地方の逸品である。	神明 1-3-43	昭 57.2.22
市	東福寺山門 (建造物)	1 棟	この山門は、江戸時代木割(きわり)書によって造営され、細部は工匠の熟練した技術によって処理されている。また冠木(かぶき)上の彫刻も見事であり、彫工の非凡な刀痕がみられる。	神明 1-3-43	昭 57.2.22
市	吉岡家所蔵歴史資料 (歴史資料)	1540 点	幕末から明治にかけての金融関係の動向や明治中後期の東京との交換売買のありさま等、郷土史研究にとって貴重な資料である。	高砂 1-1-1	昭 57.2.22
市	新井家所蔵歴史資料 (歴史資料)	一括	この資料は草加市史上の重要人物の一人である新井孫助に関係する貴重な補完資料だけでなく、近世と近代の草加の豪農、豪商層の成り立ちとあり方、当時の村落状況を伝える貴重な資料である。	花栗 3-1-7	昭 58.2.22
市	藤波家所蔵歴史資料 (歴史資料)	一括	資料は大きく分けて①草加せんべい②豪農の家訓③明治 10 年～20 年代の「草加人の憲法学習」④日記に見る大正期の青少年の青春像の 4 編からなっており、その文献類はいずれも草加市の歴史を知る上で貴重な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭 58.2.22
市	草加神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.27m、奥行 1.91m、向拝(こうはい)の出 1.73mの一間社流造(いっけんしゃながれづくり)で、天保年間の造営。豊富な彫刻も立川流の絵様を採用している建物である。	氷川町 2118-4	昭 58.2.22
市	日枝神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 1.51m、奥行 1.34m、向拝(こうはい)の出 1.15mからなる一間社流造(いっけんしゃながれづくり)で、彫刻充填式の建物である。	吉町 3-9-24	昭 58.2.22
市	手代町面芝居資料 シャグマ 8 点、面 14 点、衣装 22 点 (有形民俗文化財)	一	神楽舞だけでなく面(おもて)芝居を演ずるのが、この地方の神楽の特色であったが、面(おもて)芝居が上演されなくなって久しい。完全な形で保存されており、民族芸能を知る上で貴重な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭 59.3.14

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	弘安六年弥陀一尊板碑 (歴史資料)	1 基	弘安六年(1283)は市域で最も古い板碑であり、中世の地域社会を理解する上で、かけがえのない資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭 59.3.14
市	享禄五年弥陀一尊図 像庚申待板碑 (歴史資料)	1 基	庚申待板碑(こうしんまちいたび)は市域でこの1点が確認されただけであり、造立も享禄五年(1532)と古く、中世の地域社会を理解するうえで、貴重な資料である。	柿木町 1395	昭 60.3.28
市	文明十七年弥陀一尊 図像月待板碑 (歴史資料)	1 基	月待板碑(つきまちいたび)は、一般に例が少なく、市内においては現在この1点が発見されただけで、造立年代も文明十七年(1485)11 月 23 日と、市内の月待関係石刻資料としては最も古く、中世の地域社会を理解する上で、貴重な資料である。	遊馬町 272	昭 61.2.20
県	甚左衛門堰 (建造物)	1 基	明治 27 年から昭和 58 年までの約 90 年間使用された、二連アーチ型の煉瓦造水門。煉瓦は古いタイプの横黒煉瓦(鼻黒・両面焼煉瓦ともいう。)を使用しており、建設年代から見てもこの種の煉瓦を使った最後期を代表する遺構である。また、煉瓦で出来た美しい水門は、周囲の景観にとけ込み、デザイン的にも優れたものであり、建設当初の姿を保ち、保存状態が極めて良く、農業土木技術史・窯業技術史上でも貴重な建造物である。	神明 2-145-1 他	市指定 平 10.10.28 県指定 平 11.3.19
市	正保二年草賀町銘板 碑型線刻虚空蔵菩薩 立像供養塔 (歴史資料)	1 基	この供養石塔は「草賀(加)町」の文字がある石物資料としては、現在知られている中で最も古いものとして注目される。また、草加市域では数少ない「虚空蔵菩薩立像」の線刻尊像である。	草加 2-13	平 17.9.29
市	綾瀬川(旧新田村) 出土丸木舟 (歴史資料)	1 基	昭和 4 年、綾瀬川のしゅんせつ工事中に発見された。約 5300 年前・縄文時代前期のものと推定される。帯状の割り残しによる横梁を有し、今後、丸木舟の構造を解明するうえで重要な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	平 18.7.26
国	草加市立歴史民俗資 料館(旧草加小学校 西校舎) (国登録有形文化財 ＜建造物＞)	1 棟	大正 15 年に建設された、埼玉県では初の鉄筋コンクリート(RC)造校舎である。昭和 54 年度まで草加小学校の校舎として利用され、その後昭和 58 年に歴史民俗資料館として開館した。造形の模範になっている建造物であることなどが評価され、平成 20 年 10 月 23 日付で、市では初、県では 123 件目の「登録有形文化財」となった。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	平 20.10.23
市	明治天皇行在所記念 碑 (歴史資料)	1 基	「中大川」と呼ばれた大川弥惣右衛門家は、明治 9 年の奥羽巡幸及び明治 14 年の東北・北海道巡幸の際に明治天皇の行在所として指定された。昭和 8 年には史蹟名勝天然紀念物保存法に基づく史蹟に指定され、翌 9 年、これを記念し草加町が明治天皇草加行在所記念碑を建立した。行在所は平成 4 年に解体され、現在では記念碑が行在所の所在地及び中大川家の由緒を伝える貴重な資料となっている。	住吉 2-75-4	平 23.12.26

教育委員会関係附属機関委員

(順不同、敬称略)
(平成24年8月1日現在)

草加市奨学資金貸付審査会委員（4人）

並木 正成 石田 明男 若林 秀次 秋元 芳枝

草加市立小中学校通学区域審議会委員（14人）

福田 誠一 田畑 圭介 高波 さおり 林 文夫 上手 一雄
浅井 壽雄 高橋 久 上野 和敏 川崎 淳一郎 藤山 英樹
磯谷 正雄 生明 茂 菊池 英 寺尾 容子

草加市障害児就学支援委員会委員（15人）

大石 幸二 後藤 和子 堀 喜代司 神山 千里 柴 多美世
佐藤 淳子 池本 毅 高橋 裕子 吉田 晃 福島 章雄
横澤 秀子 加藤 治 塩井 啓子 新田 進一 田島 益子

草加市社会教育委員（15人）

高橋 富士江 梶川 澄昭 松村 麻利 田中 光彦 高橋 靖子
木村 孝三郎 本多 恵子 江口 朔治 加藤 由美子 安井 一郎
青山 鉄平 上羅 廣 谷古宇 孝 細川 美佐子 嶋根 繁

草加市公民館運営審議会委員（13人）

百瀬 皓 山本 多美子 豊田 美子 山口 堯二 福田 常一
塩脇 洋 高林 三重子 平林 國男 藤田 誠 木村 功
三浦 伸治 若林 則男 後藤 一彦

草加市文化財保護審議会委員（6人）

浅古 倉政 石岡 憲雄 大村 進 佐藤 久夫 高橋 操
堀内 仁之

文化財調査委員（13人）

橋内 省子 小山 治夫 酒井 達男 佐々木 深雪 田中 信正
豊田 昭彦 晝間 喜博 深井 孝行 石井 善夫 古性 勇
澤田 美樹 船戸 良一 丸山 善太郎

草加市立図書館協議会委員（12人）

野口 繁 藤谷 和史 中島 清治 堀 美紀子 植本 好子
犬塚 寿子 大森 芳枝 高橋 昌夫 高野 日出代 三澤 江津子
上林 直子 羽田 洋一

学校教育関係等一覧

●小学校

No	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加小学校	住吉一丁目 1 1 番 6 4 号	927-3568・3569	寺 島 高 志	嶋 田 弘 之
2	高砂小学校	中央一丁目 2 番 5 号	924-3425・3426	中 村 文 夫	小 松 薫 樹
3	新田小学校	旭町六丁目 1 2 番 1 1 号	941-3087・3172	上 野 和 敏	長 峰 宣 幸
4	谷塚小学校	谷塚仲町 4 4 0 番地	925-2422・7105	三 浦 伸 治	高 橋 孝 幸
5	栄小学校	松原一丁目 3 番 2 号	941-2164・2124	梶 川 澄 昭	沖 野 邦 夫
6	川柳小学校	青柳七丁目 2 7 番 1 0 号	931-5025・5024	小 濱 治 人	水 澤 節 子
7	瀬崎小学校	瀬崎二丁目 3 2 番 1 号	924-9656・9657	梶 原 悦 郎	岩 渕 健 志
8	西町小学校	西町 2 7 0 番地	924-7245・7246	舩 戸 姿 子	奥 村 勇
9	新里小学校	新里町 7 5 9 番地	924-7248・7249	輿 水 功	森 田 恵 子
10	花栗南小学校	花栗四丁目 3 番 1 号	941-2854・2835	阿 部 豊	皆 川 賢 司
11	八幡小学校	八幡町 6 5 番地	936-6293・6294	横 井 三 夫	菅 野 光 三
12	新栄小学校	新栄町 9 5 9 番地	941-2189・2188	土 屋 和	村 山 岳 視
13	清門小学校	清門町 5 5 2 番地	941-6755・6756	若 林 茂 次	小 川 正 松 原 恵 子
14	稻荷小学校	稻荷五丁目 1 1 番 1 号	936-5855・5856	野 口 繁	長 谷 川 晃
15	氷川小学校	氷川町 4 4 8 番地	928-6771・6772	荒 井 智	高 橋 始
16	八幡北小学校	八幡町 1 1 4 8 番地	936-0773・0774	青 柳 晃 一	田 中 茂
17	長栄小学校	長栄町 7 6 2 番地	942-9874・9875	佐 藤 泰 子	岡 田 安 弘
18	青柳小学校	青柳三丁目 1 7 番 1 号	931-0899・0894	吉 田 晃	砂 田 武 邦
19	小山小学校	小山二丁目 8 番 1 号	941-1701・1702	内 田 高 司	石 塚 光 夫
20	両新田小学校	両新田西町 5 5 番地	927-8411・8412	須 山 恵 子	鈴 木 恒 次
21	松原小学校	松原四丁目 2 番 1 号	941-3214・3996	武 井 一 美	早 津 次 仁

●中学校

No	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加中学校	氷川町 2 1 7 9 番地 4	925-5201・5202	細 川 昭 二	市 川 啓 二 鈴木有津子
2	栄中学校	松原三丁目 3 番 1 号	941-2587・2589	川 崎 淳 一 郎	小 泉 俊 一
3	谷塚中学校	谷塚上町 6 2 番地	925-2421・3456	石 田 明 男	今 泉 正 之
4	川柳中学校	青柳七丁目 3 5 番 1 号	931-5827・5828	石 神 優	本 間 錦 一
5	新栄中学校	新栄町 2 0 6 番地	941-5034・5035	福 島 章 雄	水 澤 郁 夫
6	瀬崎中学校	瀬崎五丁目 3 番 1 号	927-6297・6298	並 木 正 成	中 谷 浩 一
7	花栗中学校	花栗四丁目 1 5 番 1 2 号	941-5833・5835	板 倉 真 須 夫	中 村 常 雄
8	両新田中学校	両新田西町 3 6 8 番地 1	924-5051・5052	山 本 好 一 郎	渡 部 康 弘
9	新田中学校	長栄町 7 6 7 番地	942-9872・9873	福 田 實	藤 本 隆 広
10	青柳中学校	青柳八丁目 5 8 番 1 0 号	936-4001・4002	藤 谷 和 史	丹 羽 尊 司
11	松江中学校	松江三丁目 1 4 番 3 3 号	936-9903・9904	水 澤 恒 道	笠 井 誠 司

●高等学校・大学

No	学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	校長・学長
1	埼玉県立草加高校	青柳五丁目3番1号	935-4521	長 谷 川 浩
2	埼玉県立草加南高校	柳島町6番地	927-7671	細 田 清
3	埼玉県立草加東高校	柿木町1110番地1号	936-3570	吉 見 昌 二
4	埼玉県立草加西高校	原町二丁目7番1号	942-6141	松 村 麻 利
5	獨協大学	学園町1番1号	946-1641	犬 井 正

●私立幼稚園

No	幼 稚 園 名	所 在 地	電 話 番 号	園 長
1	谷塚幼稚園	瀬崎二丁目37番3号	928-0410	小 倉 惠 照
2	ルミ幼稚園	住吉一丁目6番22号	928-0016	佐無田 美倭子
3	あずま幼稚園	遊馬町430番地	925-1741	丹 羽 義 昭
4	いなり幼稚園	稲荷四丁目14番20号	931-4949	鈴 木 禮 子
5	かおり幼稚園	氷川町1080番地1	928-4489	帛 溪 宗 峰
6	草加みどり幼稚園	栄町三丁目3番12号	936-0815	吉 田 栄 子
7	青徳幼稚園	青柳七丁目19番26号	936-5560	圀 田 やよい
8	ひかり幼稚園	松原二丁目1番1号	942-1015	谷 脇 純 子
9	草加ひまわり幼稚園	松原三丁目1番1号	941-2215	中 本 順 子
10	草加藤幼稚園	松原四丁目4番2号	942-1626	山 本 恭 子
11	新田幼稚園	金明町650番地	942-5516	柴 多美世
12	谷塚おざわ幼稚園	谷塚町1328番地1	927-2828	小 澤 尚 久
13	草加氷川幼稚園	氷川町675番地	925-3006	平 野 徳 枝
14	みのべ幼稚園	北谷二丁目31番1号	941-8252	美濃部 やよい
15	草加ひので幼稚園	中根二丁目12番35号	931-1880	堀 江 鈍 也
16	清門幼稚園	清門町472番地2	942-5880	高 橋 富士江
17	フラワー幼稚園	西町1005番地1	925-4121	大 熊 佐喜子

児童・生徒数等の推移

(各年度5月1日現在)

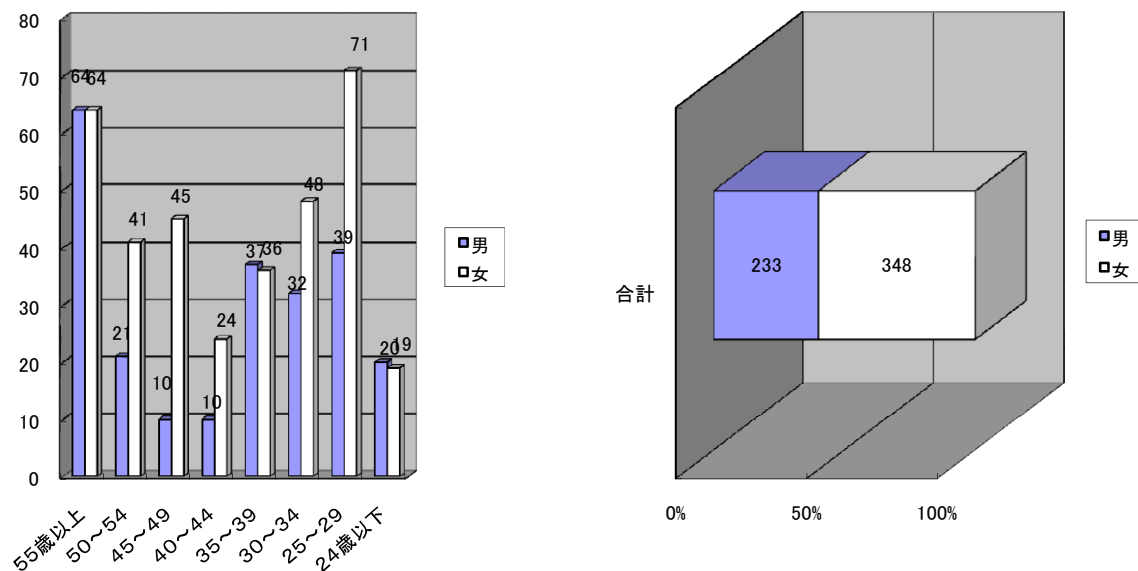
年度		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
児童・生徒数	小学校	13,075	12,682	12,372	12,161	12,115	12,030	12,128	12,279	12,767	12,767
	中学校	6,958	6,726	6,520	6,261	6,003	5,884	5,753	5,633	5,523	5,367
学校数	小学校	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
年度		15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
児童・生徒数	小学校	13,099	13,412	13,677	13,936	13,925	14,118	14,148	14,137	13,940	13,617
	中学校	5,360	5,338	5,567	5,651	5,894	5,881	6,081	6,140	6,410	6,549
学校数	小学校	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

教職員の年齢構成・男女比

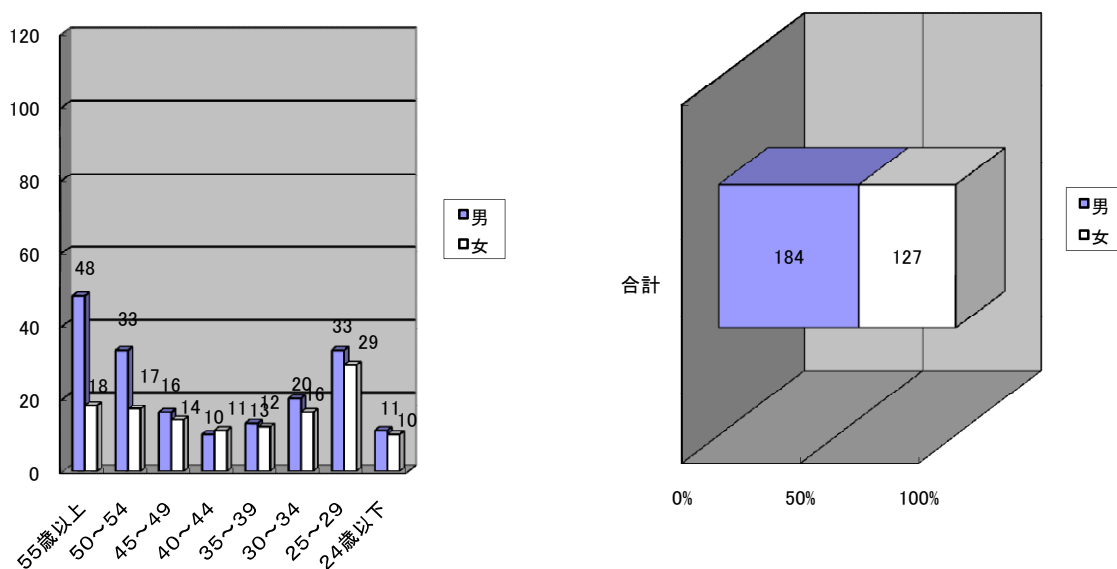
(平成24年5月1日現在、県費負担教職員)

(年齢は平成24年3月31日現在)

小学校(649人)



中学校(368人)



学 校 概 要

平成24年度草加市小中学校学年別児童・生徒数・学級数等一覧表

(平成24年5月1日現在)

	学校数	児童・生徒数	学 級 数			県費教職員数		
			通常学級	特別支援学級	計	男	女	計
小 学 校	21	13,617	407	32	439	249	404	653
中 学 校	11	6,549	182	18	200	220	161	381
計	32	20,166	589	50	639	469	565	1,034

(小学校)

No.	学校名	創立記念日	開校記念日	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級		計		県 費 教 職 員 数									
				児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	校長	教頭	主幹 教諭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	学校 栄養 職員	計	
1	草 加	明5. 5. 15	5月15日	121	4	135	4	119	3	129	4	138	4	135	4	12	2	789	25	1	1	1	30	1		1	1		36
2	高 砂	昭29. 4. 1	9月18日	158	5	157	5	154	4	146	4	159	4	180	5	9	2	963	29	1	1	1	35	2	1	2			43
3	新 田	明6. 4. 26	4月26日	86	3	89	3	102	3	108	3	102	3	127	4	14	2	628	21	1	1	1	23	1		1	1		29
4	谷 塚	明6. 1. 25	1月25日	160	5	134	4	161	5	147	4	173	5	147	4	10	2	932	29	1	1	1	34	2		2	1		42
5	栄	昭38. 4. 1	5月2日	98	3	97	3	115	3	109	3	111	3	105	3	7	2	642	20	1	1		26	1		1	1		31
6	川 柳	明6. 1. 15	4月12日	116	4	134	4	91	3	107	3	113	3	112	3	1	1	674	21	1	1		25	1	1	1			30
7	瀬 崎	昭42. 4. 1	5月4日	100	3	121	4	130	4	134	4	119	3	128	4	8	2	740	24	1	1		30	1		1	1		35
8	西 町	昭42. 4. 1	1月23日	118	4	138	4	133	4	134	4	143	4	117	3	6	1	789	24	1	1		29	1	1	1			34
9	新 里	昭45. 4. 1	2月10日	118	4	116	4	127	4	115	3	135	4	133	4	4	1	748	24	1	1	1	29	1		1	1		35
10	花 栗 南	昭47. 4. 1	5月10日	72	3	61	2	75	2	77	2	91	3	92	3	6	2	474	17	1	1		21	1		1			25
11	八 幡	昭48. 4. 1	9月29日	133	4	126	4	153	4	146	4	161	5	115	3	18	4	852	28	1	1		36	2		2	1		43
12	新 栄	昭49. 4. 1	11月22日	74	3	82	3	77	2	66	2	66	2	61	2	4	1	430	15	1	1		18	1		1	1		23
13	清 門	昭51. 4. 1	9月14日	170	5	160	5	179	5	176	5	179	5	165	5	10	2	1,039	32	1	2		40	2	1	2			48
14	稲 荷	昭52. 4. 1	5月4日	78	3	103	3	98	3	97	3	104	3	97	3	4	1	581	19	1	1		23	1		1	1		28
15	氷 川	昭52. 4. 1	9月16日	83	3	87	3	95	3	87	3	108	3	91	3	7	1	558	19	1	1		25	1		1	1		30
16	八 幡 北	昭54. 4. 1	5月4日	70	2	95	3	56	2	85	3	85	3	80	2	1	1	472	16	1	1		20	1		1			24
17	長 栄	昭55. 4. 1	7月1日	66	2	68	2	68	2	84	3	75	2	50	2	0	0	411	13	1	1		17	1	1	1			22
18	青 柳	昭57. 4. 1	5月4日	76	3	61	2	74	2	77	2	67	2	74	2	7	2	436	15	1	1		18	1		1			22
19	小 山	昭57. 4. 1	10月14日	69	2	86	3	108	3	93	3	90	3	120	3	2	1	568	18	1	1		21	1	1	1			26
20	両 新 田	昭57. 4. 1	5月4日	93	3	72	3	71	2	77	2	68	2	86	3	7	1	474	16	1	1	1	19	1		1			24
21	松 原	平21. 4. 1	5月23日	71	3	65	2	63	2	63	2	79	2	70	2	6	1	417	14	1	1		19	1		1			23
計				2,130	71	2,187	70	2,249	65	2,257	66	2,366	68	2,285	67	143	32	13,617	439	21	22	6	538	25	6	25	10		653

(中学校)

1	草 加	昭22. 4. 1	4月23日	215	6	244	7	216	6							14	2	689	21	1	2		35	1		2	1		42
2	栄	昭22. 4. 1	11月2日	180	5	163	5	149	4							14	3	506	17	1	1		28	1		1	1		33
3	谷 塚	昭22. 4. 1	5月3日	242	7	224	6	260	7							19	3	745	23	1	1	1	37	1	1	2			44
4	川 柳	昭22. 4. 1	5月1日	191	6	203	6	207	6							9	2	610	20	1	1		32	1	1	1			37
5	新 栄	昭49. 4. 1	5月4日	227	6	203	6	196	5							7	2	633	19	1	1		30	1	1	1			35
6	瀬 崎	昭51. 4. 1	5月4日	277	8	280	7	257	7							3	1	817	23	1	1	1	37	2		2	1		45
7	花 栗	昭52. 4. 1	5月24日	179	5	173	5	183	5							5	2	540	17	1	1	1	26	1		1			31
8	両 新 田	昭54. 4. 1	5月4日	186	5	175	5	180	5							0	0	541	15	1	1		26	1		1			30
9	新 田	昭55. 4. 1	7月1日	172	5	172	5	149	4							5	1	498	15	1	1		24	1		1			28
10	青 柳	昭56. 4. 1	7月7日	140	4	166	5	132	4							4	1	442	14	1	1	1	22	1		1			27
11	松 江	昭60. 4. 1	6月27日	191	6	177	5	157	4							3	1	528	16	1	1		25	1		1			29
計				2,200	63	2,180	62	2,086	57							83	18	6,549	200	11	12	4	322	12	3	14	3		381

小・中学校施設状況

平成24年4月1日現在

No	学 校 名	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	全教室数 (保有教室数)	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (水面積) (㎡)	グラウンド 面積 (㎡)
1	草加小学校	14,200	5,395	32	890	375	7,620
2	高砂小学校	25,357	11,696	43	1,475	385	8,088
3	新田小学校	15,032	6,019	34	901	385	4,327
4	谷塚小学校	17,311	8,603	39	985	390	6,260
5	栄小学校	19,161	5,514	29	906	375	4,000
6	川柳小学校	22,971	5,762	29	899	385	10,415
7	瀬崎小学校	12,783	5,212	32	916	375	4,697
8	西町小学校	18,909	6,703	33	922	375	7,136
9	新里小学校	15,189	6,478	34	897	375	5,756
10	花栗南小学校	15,666	5,803	29	883	375	6,969
11	八幡小学校	22,735	8,055	39	908	375	9,626
12	新栄小学校	16,500	5,990	28	888	375	7,628
13	清門小学校	14,837	6,516	36	902	375	7,473
14	稲荷小学校	16,324	4,867	27	902	375	8,647
15	氷川小学校	16,430	6,781	29	949	375	7,746
16	八幡北小学校	15,441	6,056	27	934	350	8,746
17	長栄小学校	16,029	5,626	24	860	350	7,496
18	青柳小学校	12,759	4,709	24	1,121	350	6,039
19	小山小学校	14,123	4,992	25	936	350	8,656
20	両新田小学校	14,568	4,997	25	936	350	8,095
21	松原小学校	18,338	7,969	31	851	345	7,635
計		354,663	133,743	649	19,861	7765	153,055
1	草加中学校	21,506	5,281	33	2,095	425	7,448
2	栄中学校	26,479	5,807	28	899	325	15,153
3	谷塚中学校	22,591	7,507	39	897	375	9,471
4	川柳中学校	20,180	5,157	33	852	325	7,364
5	新栄中学校	15,819	6,006	36	919	375	6,291
6	瀬崎中学校	17,702	6,057	35	945	325	9,943
7	花栗中学校	17,078	6,674	32	891	325	8,599
8	両新田中学校	17,554	5,749	27	936	325	12,075
9	新田中学校	17,581	6,664	27	939	325	9,647
10	青柳中学校	17,063	6,651	30	930	325	8,598
11	松江中学校	17,302	6,994	29	800	325	9,383
計		210,855	68,547	349	11,103	3775	103,972

平成24年度 草加の教育

平成24年8月 発行

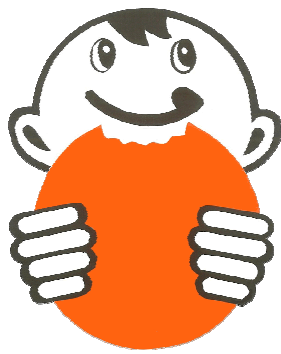
編 集 草加市教育委員会総務企画課

発 行 草加市教育委員会

草加市高砂一丁目1番1号

TEL 048-922-0151(代)

FAX 048-928-1178



草加せんべい パリポリくん